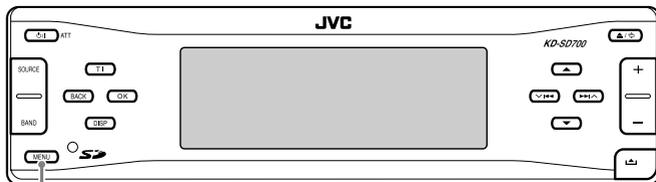
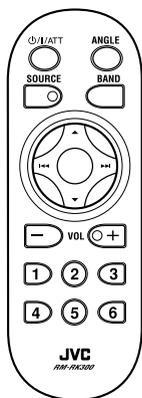


WMA/MP3対応SD/CDレシーバー

型名 KD-SD700



デモ表示について

本機にはデモ表示機能がついています。20秒以上ボタン操作をしないと、自動でデモ表示が始まります。

解除するときは、PSMメニューを表示させ、「デモ/Link」を「Off」に切替えます。詳しくは40、41ページの「PSMモードの各種設定と調節」をご覧ください。

〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。53ページの「コントロールパネルの着脱」をご覧ください。本体に取り付けてください。

— お買い上げありがとうございます —

⚠️ ご使用前に

この「取扱説明書」と別冊の「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

	ページ		ページ
● 安全上のご注意	3~5	・ ディスクの盗難防止	31
● 使用上のご注意	6、7	・ ディスクの強制取り出し	32
・ ディスクの取扱いについて	7	● 画像データをダウンロードする ...	33~39
・ SDカードの取扱いについて	7	・ ダウンロードをする前に	33
● コントロールパネルの 使いかた	8、9	・ 画像データをダウンロードする	35
・ 各部の名前	8	・ 画像を削除する	36
● リモコンの使いかた	10、11	・ ダウンロードした画像を表示する ...	38
・ 使用上の注意	10	● PSMモードの各種設定と調節 ...	40~46
・ 電池の入れかた	10	・ PSMモードの設定方法	40
・ 各部の名前	11	・ PSMモードの一覧	40
● 基本操作	12~14	・ PSMモードの機能説明	41
・ メニュー画面の使いかた	13	・ 表示窓の明るさを変更する	44
・ 表示窓の表示内容を変える	14	・ 表示窓の色を変更する	45
● 時計を合わせる	15	● iEQの使いかた	47、48
● ラジオを聞く	16~20	・ EQパターンを選ぶ	47
・ 放送局を選ぶ	16	・ 調節したEQパターンを記憶(メモリー)する ...	47
・ 放送局を自動で記憶(メモリー)させる ...	17	● 音量・音質の調節	49、50
・ 放送局を選んで記憶(メモリー)させる ...	18	・ スピーカーのバランスを調節する	49
・ 放送局を呼び出す(プリセット選局) ...	19	・ サブウーハーの音量を調節する	49
・ IFフィルターを切換える(FM放送のみ) ...	19	・ ソース(音源)ごとの音量差を調節する ...	50
・ FM放送が雑音で聞きにくいときは ...	20	・ ラウドネスを「On」にする	50
・ 道路交通情報を聞く	20	● 放送局名/ディスク名を登録する ...	51
● ディスク/SDカード を再生する	21~32	● コントロールパネルの角度を変える ...	52
・ ディスクを再生する	21	● コントロールパネルの着脱	53
・ MP3/WMAディスクについて	21	・ コントロールパネルを外す	53
・ CD-R/CD-RWディスクについて	22	・ コントロールパネルを取り付ける ...	53
・ CDテキストについて	22	● CDチェンジャー(別売り)の ディスクを聞く	54~59
・ ディスク挿入後の表示について	22	・ 全曲演奏(全ディスクのくり返し演奏) ...	54
・ SDカードを再生する	23	・ 早送り/早戻しをする(サーチ)	55
・ SDカード挿入後の表示について	24	・ 頭出しをする(スキップ)	55
・ 早送り/早戻しをする(サーチ)	25	・ 次または前のフォルダにスキップする ...	55
・ 頭出しをする(スキップ)	25	・ リモコンでダイレクトにディスクを選ぶ ..	56
・ リモコンでダイレクトに曲を選ぶ ...	25	・ プレイリストを見ながら選ぶ	57
・ MP3/WMAのフォルダとファイルの演奏順序 ...	26	・ いろいろな再生モードを使用する ...	58
・ 次または前のフォルダにスキップする ...	26	● 他の機器の音を聞く	60
・ プレイリストを見ながら選ぶ	27	● 故障かな?と思う前に ...	61~63
・ リモコンでダイレクトにフォルダを選ぶ (ダイレクトフォルダアクセス機能)	28	・ こんな表示のときは	62
・ いろいろな再生モードを使用する ...	29	● 保証とアフターサービス	64
・ ミュージックリンクについて	31	● 主な仕様	65
		・ 別売りのオプション品	65

ページ

- 放送局名一覧 66~69
- 文字配列表 70
- お手入れ 71
 - ・ 本体の清掃 71
 - ・ CDのお手入れ 71

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

● 絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



手をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



水ぬれ禁止

- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節などの操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠ 注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



- ・けがの原因となることがあります。

手をはさまれないよう注意

本機を車載用以外には使用しない。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しない。



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。



- ・他の金属片等と、そのまま一緒に廃棄するとショートして発火、破裂の原因となることがあります。

電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れない。



- ・電池の破裂、液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω~8Ωのものをお使いください。

スピーカーの最大入力が50W以下のときは、「アンプ ゲイン」を「最大音量30」に設定してお使いください(→43ページ)。

●安全運転のために…

・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**

・ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、ディスクを使用するときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。

(使用温度範囲:0℃~+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してディスクが正常に演奏できないことがあります。

・エアコン(暖房)を入れた直後

・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1~2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別冊の取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの^{ビティール}側が車の金属部に接続されていたり^{マイナス}側が接続されていると故障の原因になります。

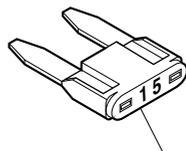
*BTL:Balanced Transformerlessの略

2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



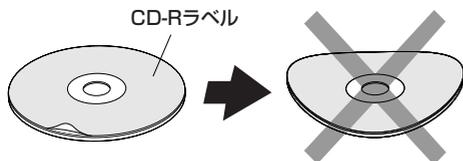
ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、運転中に携帯電話を使用すると、法律により罰せられます。

ディスクの取扱いについて

- CD/CD-R/CD-RWを保管するときは専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できなくなることがあります。
- CD-R/CD-RWの取扱いについて
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いので傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- 記録面に保護シールなどを張ったり、ラベル面にCD-Rラベルなどを張ったりしないでください。
そのまま使用すると、CDが反って音飛びしたり取り出せなくなったり、故障の原因となります。

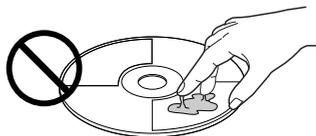


CD-Rラベルなどが張っていると、本機内部の温度上昇によりディスクが反って音飛びや演奏停止などを起こすことがあります。

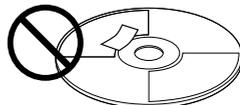
- ※ CD-Rラベルや印刷可能CD-Rの「使用上のご注意」などをよくお読みになり、正しくお使いください。
- ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。
8センチCDは、そのまま挿入してください。
- CDを長時間使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

- 次のようなCDは使用しないでください。
本体内部にCDが張り付いて取り出せなくなったり、大切なCDが反って音飛びしたりCDに傷が付く原因となります。

- ・ 中古CDやレンタルCDでシールなどのノリがはみだしたり、シールをはがしたあとにノリが付着しているもの。
またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの



- ・ レンタルCDでシールが張ってあるもの（特にめくれているもの）



- ・ ラベル面に印刷できるインクジェットプリンター対応CD-R（印刷したもの）

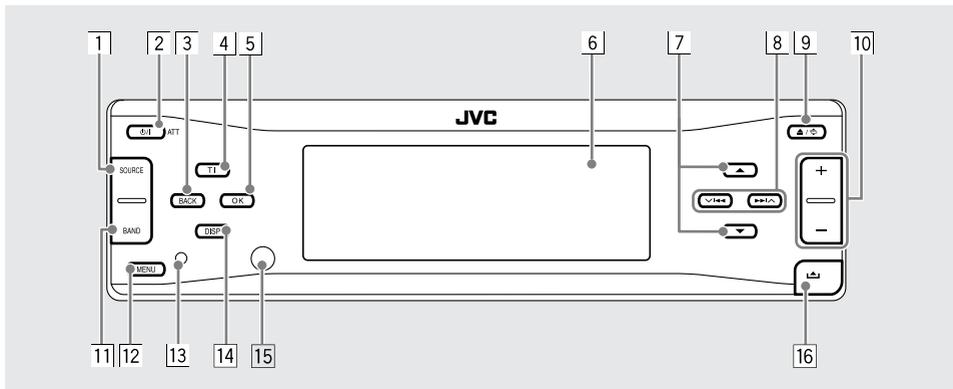
SDカードの取扱いについて

- SDカードの出し入れは必ず電源が「切」の状態で行う。
- SDカードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない。また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない。
・ SDカードが破壊される恐れがあります。
また、SDカードの内容が破壊されたり、消失したりする恐れがあります。
- 使用後は、必ずSDカードを取り出して保管する。
・ 使用後や保管時、持ち運びのときは、収納ケースなどに入れてください。
・ SDカード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また、手などで触れないでください。

コントロールパネルの使いかた

各部の名前

— () 内のページに説明があります。—



1 SOURCE(ソース)ボタン (12)

ソース(音源)を選ぶとき押します。押すごとに次のように切替わります。



- *1 本機にディスクが入っているとき選べます。
- *2 本機にSDカードが入っているとき選べます。
- *3 本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます(⇒54ページ)。
外部入力設定(⇒43ページ)を「Ext In」に設定すると、「EXT IN」が選べます。別売りの変換コード:KS-U57/KS-U58が必要です。

2 電源ボタン (12)

電源を「入/切」するとき押します。「切」にするときは1秒以上押します。

ATT(アッテネーター)ボタン (12)

一時的に音量を下げるときは「ボン」と押します。

3 BACK(バック)ボタン

メニュー画面の操作中に、前の画面に戻るとき押します。

4 TI(交通情報)ボタン (20)

交通情報(AM 1620kHzまたはAM 1629kHz)を聞くと押します。

5 OKボタン

メニュー画面の操作中に項目を決定するとき押します。

6 表示窓(ディスプレイ)

7 ▲/▼ボタン

ソース(音源)や表示されるメニューによって働きが異なります。

ソース(音源)	▲/▼ ボタン
「CD」 「SD」	MP3/WMAディスク SDカード グループ(フォルダ)が選べます。 押し続けると、フォルダ名リストが表示されます。
「CD-CH (チェンジャー)」	押し続けると、ディスク名リストが表示されます。 MP3ディスク グループ(フォルダ)が選べます。

メニュー表示中はメニューの項目を選択するとき押します。

8 ▶▶|◀/▶|◀◀ ボタン

ソース(音源)	▶▶ ◀/▶ ◀◀ ボタン
「CD」 「SD」	「ポン」と押すとトラックの頭出しができます。 押し続けると早送り/早戻しになります。
「CD-CH (チェンジャー)」	「ポン」と押すとトラックの頭出しができます。 CD 押し続けると早送り/早戻しになります。
ラジオ	「ポン」と押すとオート選局になります。 押し続けると、マニュアル選局になります。

メニュー表示中はメニューの項目を選択するとき押します。

- 9 ▲(ディスク取出し)ボタン (21)
ディスクを取り出すときや挿入するとき押します。
コントロールパネルが開きます。

◆(アングル切り換え)ボタン (52)
1秒以上押すと、コントロールパネルの角度が変わります。

- 10 +/- ボタン (12)
音量を調節するとき押します。
・ +を押すと音量が上がります。
・ -を押すと音量が下がります。

- 11 BAND(バンド)ボタン (12, 16)
ソース(音源)がラジオのとき、バンドを切換ええます。押すごとに次のように切換わります。



- 12 MENU(メニュー)ボタン (13)
メインメニュー画面を表示するとき押します。

- 13 リセットボタン (61)
本機のマイコンが誤動作していたり、設定を工場出荷時の状態に戻すときに押します。

- 14 DISP(ディスプレイ)ボタン(14)
表示窓(ディスプレイ)の表示を変えるとき押します。

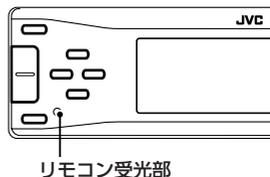
- 15 リモコン受光部 (10)
再生モードを切換えたり、EQ(Equalizer: イコライザー)などの機能を使うとき押します。

- 16 ▲(コントロールパネル取外し)ボタン (23, 53)
コントロールパネルを取り外すとき押します。
カード挿入口が現われ、SDカードの出し入れができます。

リモコンの使いかた

使用上の注意

- コントロールパネルのリモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください(動作しないことがあります)。
- リモコンに付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池(CR 2025:市販品)と交換してください。

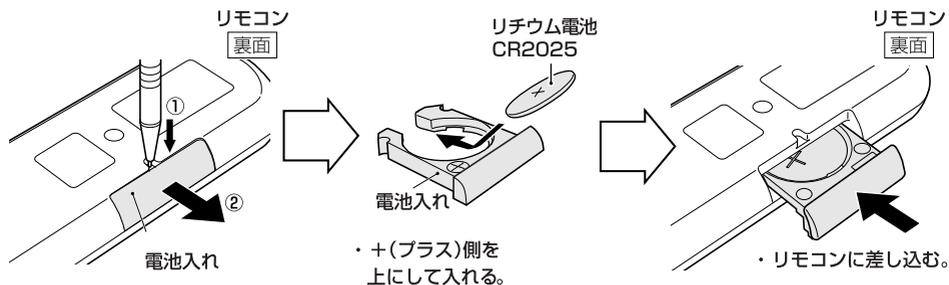


ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

電池の入れかた

ボールペンなどを電池入れの溝に入れて引き出す。

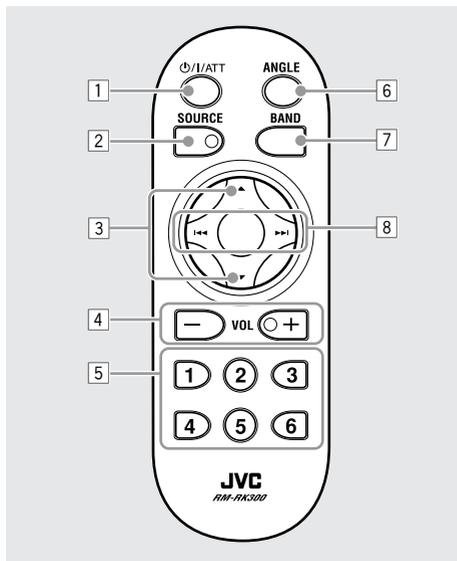


● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

各部の名前



1 電源ボタン

電源を「入/切」するとき押します。「切」にするときは1秒以上押します。

ATT(アッテネーター)ボタン

一時的に音量を下げるとき「ポン」と押します。

2 SOURCE(ソース)ボタン

ソース(音源)を選ぶとき使います。押すごとに、次のようにソース(音源)が切り換わります。



ラジオ:

FM放送またはAM放送を聞くととき選びます。前回選んでいた放送局が選ばれません。FM/AMを切り換えるときは、

BAND(バンド)ボタン(7)を押します。

CD : CD/MP3/WMAディスクを聞くととき選びます。ディスクが入っていないときは、選ばません。

SD : SDカードを聞くととき選びます。SDカードが入っていないときは、選ばません。

CD-CH:

CDチェンジャー内のCDを聞くととき選びます。CDチェンジャーを接続しているとき選べます。

外部入力設定を「Ext In」にすると「EXT IN」を選べます。

LINE IN:

本機に接続した他の機器の音声を聞くととき選びます。

3 ▲/▼ボタン

ラジオのとき:

記憶されている放送局が選べます(プリセット選局)。

MP3/WMAディスクまたはSDカードのとき:

フォルダが選べます。

4 VOL(ボリューム)+/-ボタン

音量を調節するとき押します。

5 数字ボタン

ラジオのとき:

記憶されている放送局が選べます(プリセット選局)。

「CD」「SD」のとき:

- ・音楽CDの場合
曲が直接選べます。
- ・MP3/WMAディスクまたはSDカードの場合
フォルダが直接選べます。

「CD-CH(チェンジャー)」のとき:

CD(MP3ディスク)が直接選べます。

6 ANGLE(アングル)ボタン

コントロールパネルの角度を調節するとき押します。

7 BAND(バンド)ボタン

「ラジオ」のバンドを選ぶとき使います。押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



8 ▶▶/◀◀ボタン

ラジオのとき:

ポンと押すとオート選局、押し続けるとマニュアル選局ができます。

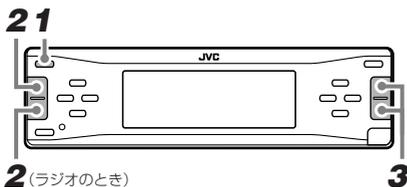
「CD」、「SD」、「CD-CH(チェンジャー)」のとき:

曲(ファイル)の頭出しや早送り、早戻しができます。

基本操作

準備

- 車のエンジンをかける。本機はエンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」の状態では電源を入れることができません。



1 ATT を押して電源を入れる

表示窓が点灯し、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はラジオの「FM1」…が表示されます。

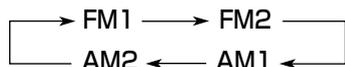
2 を押してソース(音源)を選ぶ

押すごとに、次のようにソース(音源)が切り替わります。



- *1 本機にディスクが入っているとき選べます。
- *2 本機にSDカードが入っているとき選べます。
- *3 本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます(⇒54ページ)。
外部入力設定(⇒43ページ)を「Ext In」に設定すると、「EXT IN」が選べます。別売りの変換コード:KS-U57/KS-U58が必要です。

 : ソース(音源)がラジオのとき、押すごとにバンドが切り替わります。



3 を押して音量を調節する

調節範囲は「Volume 0」から「Volume 50」までの51段階です(初期設定「Volume 15」)。

● 音量を一時的に下げる

 ATT を「ポン」と押します。

「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

● 電源を「切」にする

 ATT を1秒以上押します。

電源が「切」になります。

● 車のエンジンキーが「OFF」でも次のボタンは、操作ができます。

 : ▲(ディスク取出し)ボタン
ディスクの出し入れ

 : DISPボタン
5秒間の時刻表示

ただし、電源を「入」にはできません。

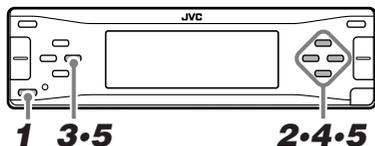
〈お知らせ〉

- 音量・音質の調節については49、50ページをご覧ください。

メニュー画面の使いかた

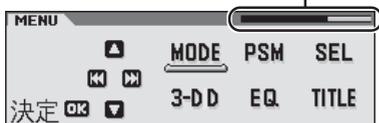
本機は **MENU** ボタンを押して表示されるメニュー画面で、さまざまな操作や設定ができます。

- 各操作には時間制限があります。15秒以上間隔を空けないで次の操作を行ってください。



1 **MENU** を押す

メインメニュー画面が表示されます。
元の表示に戻るまでの残り時間を表わします。



- 元の画面に戻るには、**BACK** を押します。

2 **▲/▼/◀/▶** を押してメニューを選ぶ

MODE : ソース (音源) ごとの各種機能が使えます。

PSM : 本機の各種設定を変更できます。(→40ページ)

SEL : 音量・音質を調節できます。(→49ページ)

3-D D : 表示窓に表示する画像やアニメーションを設定できます。(→35ページ)

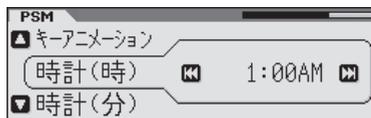
EQ : EQパターンの選択や調節ができます。(→47ページ)

TITLE : 放送局やディスク名を登録できます。(→51ページ)

3 **OK** を押してメニューを選択する

選んだメニューの画面が表示されます。

例: PSMメニューを選んだとき



- メインメニュー画面に戻るには、**MENU** を押します。

4 **▲/▼** を押してメニュー項目を選ぶ

例: PSMメニューで「ディマー」を選んだとき



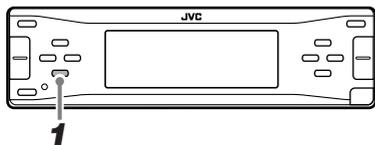
5 **◀/▶** または **OK** を押して項目を変更する

- 各項目での操作についてはそれぞれの説明をご覧ください。

基本操作(つづき)

表示窓の表示内容を変える

表示窓に表示される表示内容を切り換えることができます。



1 DISP をくり返し押す

押すごとに、表示窓の表示内容は以下のように切り換わります。

例: ソース(音源)がFM放送のとき



ソース(音源)表示または
音量レベルメーター表示



時計表示



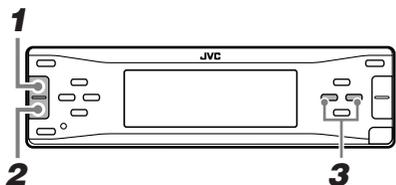
ダウンロードした画像

〈お知らせ〉

- ソース(音源)表示と音量レベルメーター表示は、PSMメニューの「レベルメーター」で切り換える事ができます(⇒ 40~42ページ)。
- CD名や曲名は、半角16文字(全角8文字)を超えるとスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする設定「1回」(お買い上げ時の状態)になっています。「自動繰返し」(自動)または「Off」(切)に変えることもできます(⇒ 40, 42ページ)。
- ダウンロード画像については、「画像データをダウンロードする(33~39ページ)」をご覧ください。

ラジオを聞く

放送局を選ぶ



1 SOURCE を押してラジオ(バンド名表示)を選ぶ

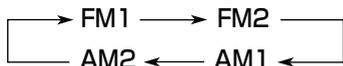
押すごとに、ソース(音源)が切り替わります。



- *1 本機にディスクが入っているとき選べます。
- *2 本機にSDカードが入っているとき選べます。
- *3 本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます(⇒54ページ)。
外部入力設定(⇒43ページ)を「Ext In」に設定すると、「EXT IN」が選べます。別売りの変換コード:KS-U57/KS-U58が必要です。

2 BAND を押してバンドを切换える

押すごとに、バンドが切り替わります。



例:FM1のとき



放送局名表示*

- * 40, 41ページの「PSMモードの各種設定と調節」で「受信地域」を選び、さらにお客様の「ご利用の地域」を選ぶとメーカープリセットの放送局名が表示されます。
放送局名を設定していないときは、「No Name」と表示されます。

3 周波数調整ボタンを押して選局する

周波数が下がります。 ← 周波数が上がります。 →

- オート選局(シーク):
「ポン」と押して離す。
本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- マニュアル選局:
1秒以上押して「Manual Search」を表示させた後、「ポン・ポン」と押して選局する。
 - ・ FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

リモコンで操作する

を押すと、オート選局が始まります。

- ・ 1秒以上押すと、マニュアル選局ができます。

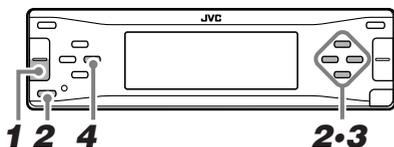
〈お知らせ〉

- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。このようなときは、受信状態の良い場所に移動してもう一度 周波数調整ボタンを押してください。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作終了から5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。

放送局を自動で記憶(メモリー)させる

電波の強い放送局を自動選局し記憶させることができます(SSM…ストロングステーションメモリー機能)。

- SSM機能を使うと、すでにそのバンドに記憶してあった放送局は取り消されます。



1 BAND を押してバンドを選ぶ

FM/AM放送のバンドごとにそれぞれ6つまで放送局を記憶させることができます。

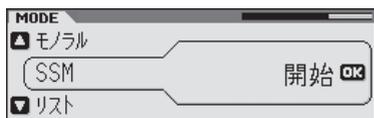
例: FM1のとき



2 MENU を押して「MODE」メニューを選ぶ

→MODEメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

3 ▲/▼ を押して「SSM」を選ぶ



4 OK を押す



自動選局が始まり、周波数の低い順に最大6つまでのFM放送局をプリセット番号の1~6に記憶していきます。

- すべての記憶が終わると、プリセット番号の「1」に記憶された放送局が表示されます。

〈お知らせ〉

- 放送局が6局より少ないときは、記憶されなかった番号には以前の記憶内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまく記憶されないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます(⇒19ページ)。

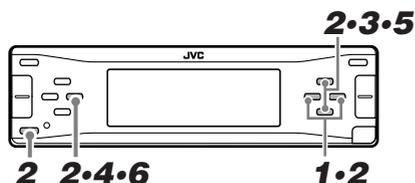
ラジオを聞く(つづき)

放送局を選んで記憶(メモリー)させる

SSM機能を使って自動で記憶するほかに、放送局を選んでから1局ずつ手で記憶させることもできます。

- プリセット番号の記憶順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに便利です。
- この操作は、SSM機能で放送局を記憶させた後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、記憶させた内容が取り消されることがあります。

例: FM放送の81.3 MHzをプリセット番号1に記憶させる



1 選局ボタンでFM81.3 MHzを選局する

「放送局を選ぶ」のオート選局(シーク)またはマニュアル選局(→ 16ページ)をご覧ください。

2 **MENU** を押して「MODE」メニューを選ぶ

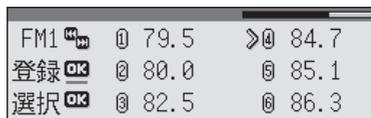
→MODEメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

3 **▲/▼** を押して「リスト」を選ぶ



4 **OK** を押す

プリセット番号のリストが表示されます。



5 **▲/▼** を押してプリセット番号1を選ぶ

6 **OK** を2秒以上押す

「P1」が点滅表示され、放送局が記憶されます。

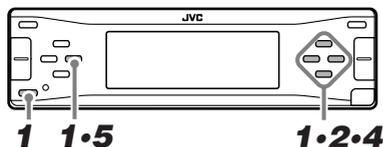


〈お知らせ〉

- **OK** は必ず2秒以上押し続けてください。押し時間が短いと記憶されません。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー(記憶)させた放送局は取り消されます。またその他すべての設定は初期状態に戻り、時刻表示も「1:00」になります。電源を接続したらもう一度設定し直してください。さらに、本機のリセットボタンを押したときもメモリー(記憶)させた放送局は取り消されます。もう一度メモリー(記憶)させてください。

放送局を呼び出す(プリセット選局)

プリセット番号1~6に記憶されている放送局を、記憶させた放送局のリストを見ながら選局することができます。



1 **MENU** を押して「MODE」メニューを選ぶ

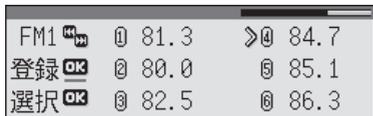
→MODEメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

2 **▲/▼** を押して「リスト」を選ぶ



3 **OK** を押す

プリセット番号のリストが表示されます。



4 **▲/▼** を押して放送局を選ぶ

5 **OK** を押す

選んだ放送局が選局されます。



- ラジオを受信中に**▲/▼** ボタンを押すと、記憶させた放送局から選局することができます。
- リモコンで操作する
数字ボタンの1~6を押すと、プリセット番号に記憶させた放送局が選局されます。

〈お知らせ〉

- **OK** は2秒以上押し続けしないでください。

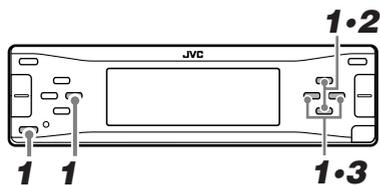
IFフィルターを切替える(FM放送のみ)

本機のチューナーは、お買い上げ時IFフィルターが「自動切換」に設定されており電波の強さや隣接妨害波などの影響を軽減するために自動でIFフィルターを切換えています。また、PSMモードの各種設定と調節で設定を変えると「ワイド」にすることができます(→40、41、43ページ「PSMモードの各種設定と調節」の「IFフィルター」参照)。

ラジオを聞く(つづき)

FM放送が雑音で聞きにくいときは

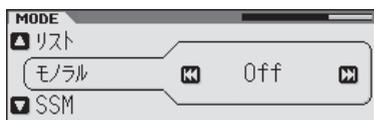
FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送のモードを切替えます。



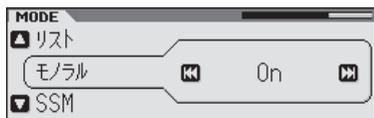
1 **MENU** を押して「MODE」メニューを選ぶ

→MODEメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

2 **▲/▼** を押して「モノラル」を選ぶ



3 **◀▶** を押して設定を切替える

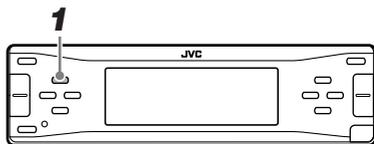


On : FM放送はモノラル受信となり雑音が少なくなります。

Off : FM放送はステレオ受信になります。

道路交通情報を聞く

高速道路などの特定地域では、AM1620kHzで道路交通情報を聞くことができます。



1 **TI** を押す

TI*ボタンを押すと、ソース(音源)に関係なくAM1620kHzが受信できます。



AM1629kHzで道路交通情報を放送しているときは：

◀▶ を押します。もう一度押すと「AM1620kHz」に戻ります。

元のソース(音源)に戻すときは：
もう一度**TI**を押します。

〈お知らせ〉

- 本機では、放送局ごとに名前を登録することができます(→51ページ)。AM1620kHzまたはAM1629kHzに放送局名を登録しているときは、TIボタンを押して道路交通情報を聞いている状態では、登録した放送局名は表示されません。
- TIボタンを押して道路交通情報を聞いているときは、他のソース(音源)とは独立して音量調節ができますので、聞きやすい音量に調節してお使いください。
もう一度TIボタンを押して元のソース(音源)に戻すと、音量も元に戻ります。

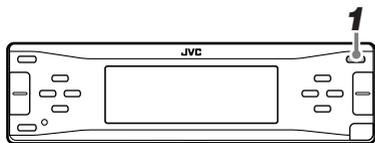
* TIとは・・・

トラフィック インフォメーション

Traffic Information(交通情報)の略です。

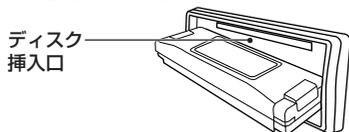
ディスク/SDカードを再生する

ディスクを再生する



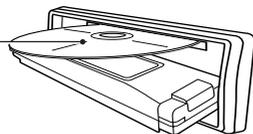
1 (ディスク取出し)を押す

コントロールパネルが開いてディスクの挿入口が現われます。



2 ディスクを入れる

文字のある面を上にする



途中まで入れると、ディスクが自動で中に引き込まれます。
ディスクの表裏を逆に入れると自動的に排出されます。
コントロールパネルが元の位置に戻り、ソース(音源)が「CD」になり演奏が始まります。
演奏を止めるまで、すべての曲がくり返し演奏されます。

演奏を止める:

を押してディスクを取り出すが、
を押してソース(音源)を切換えます。

● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れて入れます。

<お知らせ>

- 文字のある面に次のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。



- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。
- 「File Check」表示中は、ディスクを読み込んでいます。読み込みが終わると、演奏が始まります。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかかります。
- ▲(CD取出し)ボタンを押すとディスクが出ます。このときディスクを取らずにそのままにしておくとも15秒後に再び中に引き込まれます。このとき、ディスクの演奏は始まりません。

MP3/WMAディスクについて

- 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは演奏が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで演奏できます。
- ルートとは、現在開いているMP3/WMA*ディスクの最上階層のフォルダのことです。
- 同一階層内のフォルダやファイルは、ライティングソフトによってMP3/WMAディスクに書き込まれた順序で演奏されます。一般的には名前の数字・アルファベット順に書き込まれるためフォルダ名、ファイル名の初めに数字(01A、01B…など)をつけると、演奏順序を指定できることがあります。

*WMA(Windows Media® Audioの略)は、米国Microsoft社の開発した音声圧縮フォーマットです。

<お知らせ>

- 詳しくは、別冊の「音楽用ファイルMP3/WMAについて」もご覧ください。

ディスク/SDカードを再生する(つづき)

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用CDフォーマットで記録されたディスクおよびISO9660フォーマットで記録されているディスク上のMP3/WMAファイルが演奏できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては演奏できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため、車内に放置すると記録されているデータが劣化して演奏できないことがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/CD-RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

〈お知らせ〉

- 全角文字は全角で、半角文字は半角で表示されます。

(シフトJIS第三水準以上の文字は表示されません)

CDテキストについて



本機でCDテキスト対応のCDを演奏すると、アルファベットや数字、ひらがな、カタカナ、および漢字で「CDテキスト」データを表示します。

ディスク挿入後の表示について

- 音楽用CDのとき 総曲数と総演奏時間



演奏中の曲番号と
経過時間

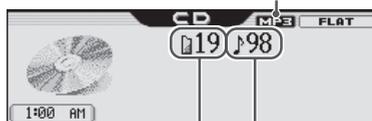


演奏中の曲名*

- MP3/WMAディスクのとき



ファイルの種類



総フォルダ数 総ファイル数

演奏中のフォルダ番号 演奏中のファイル番号 経過時間



演奏中のファイル名*³ 演奏中のフォルダ名*³

*1 ディスク名を入力したCDまたはCD TEXTで表示されます。入力する前は「No Name」と表示されます。ディスク名の入力については51ページの「放送局名/ディスク名を登録する」をご覧ください。

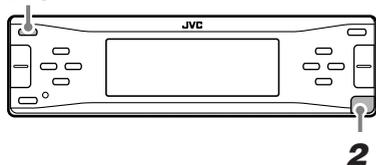
*2 曲名はCD TEXTのみ表示されます。

*3 Tagのあるファイルのときは、「タグ表示」設定を「On」にするとアルバム/演奏者名が表示されます(⇒40~42ページ)。Tag情報が無い場合は「No Name」と表示されます。

SDカードを再生する

電源を「切」にしてから操作します。

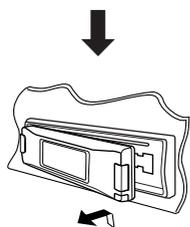
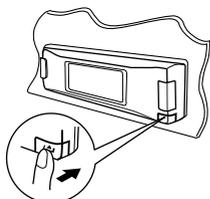
1-5



1 ATT を1秒以上押して電源を「切」にする

2 を押す

コントロールパネルのロックが外れます。

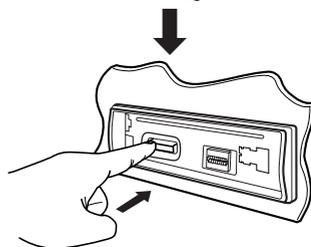
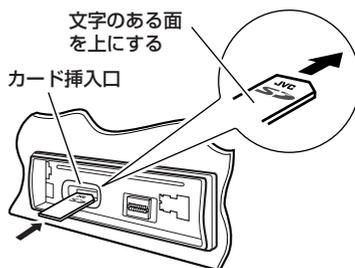


コントロールパネルを少し持ち上げてゆっくり本体から外します。

〈お知らせ〉

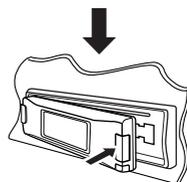
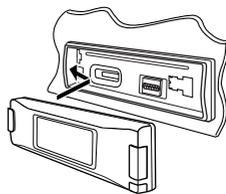
- SDカードを出し入れするときは、カード裏の接続端子部には触れないでください。

3 SDカードをカード挿入口に入れる



「カチッ」と音がするまで、SDカードをまっすぐ押し込みます。

4 コントロールパネルを取り付ける



コントロールパネルを本体左側の溝に合わせ、右側を軽く押し付けて取り付けます。

ディスク/SDカードを再生する(つづき)

5 **ATT**を押して電源を入れる

コントロールパネルが元の位置に戻り、ソース(音源)が「SD」になり演奏が始まります。

演奏を止めるまで、すべての曲がくり返し演奏されます。

再生を止める:

 を押してソース(音源)を切替えます。

●SDカードの取り出しかた

電源を「切」にしてからコントロールパネルをはずし、SDカードをもう一度「カチッ」と音がするまで押し込みます。

カード挿入口からSDカードが出てきます。

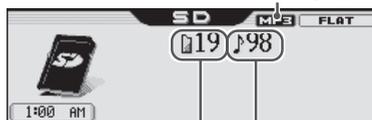
〈お知らせ〉

- 本機は、SDカードに記録したMP3/WMAファイルを再生できます。
また、イメージコンバーターで作成した画像が記録されている場合、それをダウンロードして表示することができます(➔ 35ページ)。
- SDカードは、容量が8MB~512MBのものを使用してください。
- 本機はMMCやミニSDカードは再生できません。
- 詳しくは、別冊の「音楽用ファイルMP3/WMAについて」もご覧ください。
- **SD**ロゴは商標です。
- コントロールパネルの着脱については、53ページもご覧ください。

SDカード挿入後の表示について



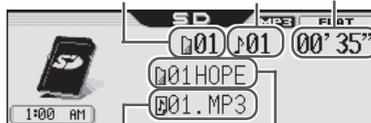
ファイルの種類



総フォルダ数 総ファイル数



演奏中のフォルダ番号 演奏中のファイル番号 経過時間

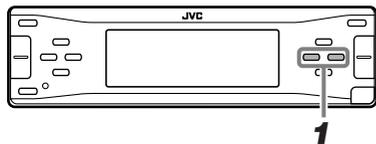


演奏中のファイル名* 演奏中のフォルダ名

* Tagのあるファイルのときは、「タグ表示」設定を「On」にするとアルバム/演奏者名が表示されます(➔ 40~42ページ)。Tag情報が無い場合は「No Name」と表示されます。

早送り/早戻しをする(サーチ)

演奏する速度を変えて、聞きたいフレーズに素早く移動できます。



1 [早戻し] / [早送り] を押し続ける

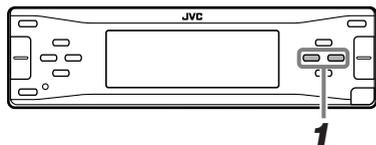
早戻し演奏 → [早戻し] → 早戻し演奏
になります。

[早送り] → 早送り演奏
になります。

ボタンを離すと、通常の演奏に戻ります。

頭出しをする(スキップ)

前後の曲(ファイル)の頭にスキップすることができます。



1 [早戻し] / [早送り] を押す

ボタンを押すごとに前後の曲(ファイル)の頭に移動します。

現在の曲の頭または、前の曲に移動します。 → [早戻し]

[早送り] → 次の曲の頭に移動します。

リモコンでダイレクトに曲を選ぶ

リモコンで曲をダイレクトに選びます。

音楽用CDのみ



1 数字ボタン(1~6)を押す

- 1~6曲目を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ポン」と押します。

例：3曲目を選ぶ

3 を「ポン」と押します。

- 7~12曲目を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

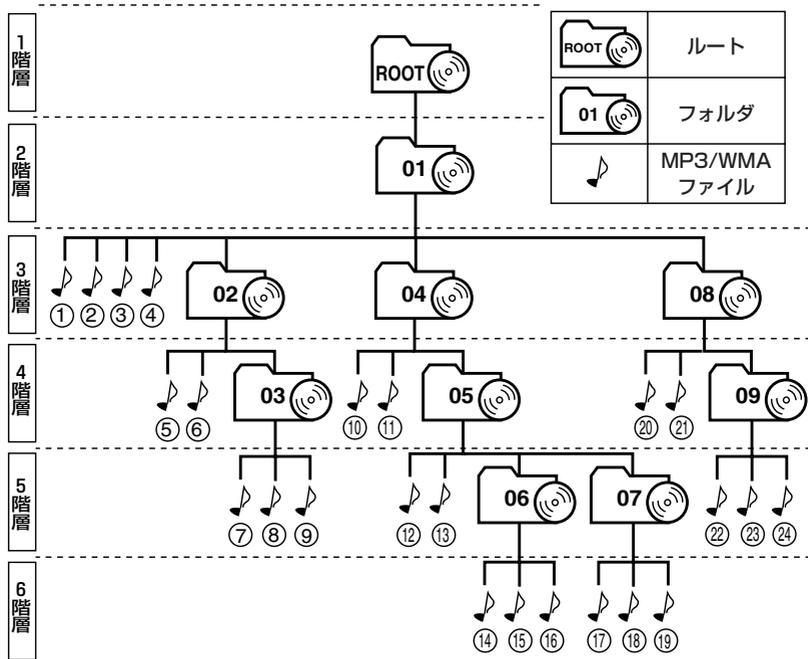
例：12曲目を選ぶ

6 を1秒以上押します。

- 13曲目以降を選ぶときは、[リセット] を使います。

ディスク/SDカードを再生する(つづき)

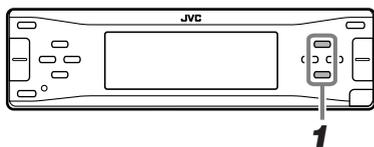
MP3/WMAのフォルダとファイルの演奏順序



次または前のフォルダにスキップする

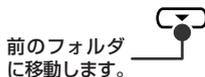
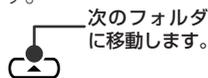
MP3/WMA ディスク・SD カードの場合のみ

ディスク内のフォルダの演奏順序(上の図の例では「01」、「02」、「03」...)に従って、フォルダを選ぶことができます。



1 ▲/▼ を押す

ボタンを押すごとにフォルダが切り換わり、選んだフォルダの最初のファイルの演奏が始まります。



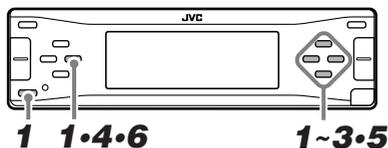
〈お知らせ〉

- 最後のフォルダ(上の図の例では「09」)まで移動した後に次のフォルダを選ぶと、最初のフォルダ(上の図の例では「01」)に戻ります。また、最初のフォルダまで移動した後に前のフォルダを選ぶと、最後のフォルダに移動します。

プレイリストを見ながら選ぶ

MP3/WMAディスク・SDカードの場合のみ

演奏中のフォルダ名やファイル名をリストを見ながら選ぶことができます。



1

MENU を押して「MODE」メニューを選ぶ

→MODEメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

2

▲/▼ を押して「リスト」を選ぶ



3

◀/▶ を押してリストを選ぶ

フォルダ: フォルダ名のリストを表示します。
ファイル: ファイル名のリストを表示します。

4

OK を押す

フォルダ名またはファイル名のリストが表示されます。

例: フォルダ名リスト

現在のフォルダまたはファイルは反転表示されます



リストには最大6つまで表示されます。表示されていないフォルダまたはファイルは、**◀▶**/**▶▶** を押して表示させます。

5

▲/▼ を押してフォルダまたはファイルを選ぶ

6

OK を押す

選んだフォルダまたはファイルの再生が始まります。

・フォルダ名リストで現在のフォルダを選んだ場合は、ファイル名リストが表示されます。

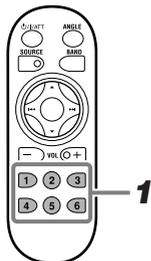
ディスク/SDカードを再生する(つづき)

リモコンでダイレクトにフォルダを選ぶ(ダイレクトフォルダアクセス機能)

MP3/WMAディスク・SDカードの場合のみ

聞きたいファイルのフォルダがダイレクトに選べます。

この機能を使うためには、あらかじめフォルダの名前の最初の2文字に「01」から「12」までの数字をつけておきます。



1 数字ボタン(1~6)を押す

- フォルダ1~6を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ボン」と押します。

例: フォルダ3を選ぶ

3 を「ボン」と押します。

- フォルダ7~12を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

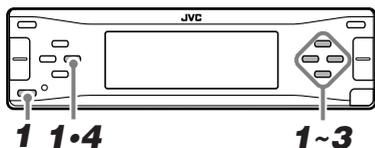
例: フォルダ12を選ぶ

6 を1秒以上押します。

〈お知らせ〉

- 選んだフォルダにMP3/WMAファイルが含まれないときは、「No Music」と表示され、演奏が始まりません。

いろいろな再生モードを使用する



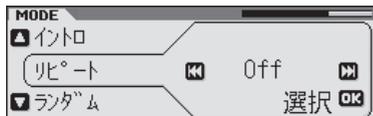
1 **[MENU]** を押して「MODE」メニューを選ぶ

→MODEメニューの選びかたは、13ページをご覧ください

2 **[▲]/[▼]** を押して再生モードを選ぶ

イントロ：曲の頭を15秒ずつ演奏します
(イントロスキャン)。
リピート：曲をくり返し演奏します。
ランダム：曲をランダムに演奏します。

例：リピートを選んだとき



3 **[▶◀]/[▶▶]** を押して演奏モードを選ぶ

演奏のモードについては、各再生モードをご覧ください。

4 **[OK]** を押す

選択した演奏モードの再生が始まります。

イントロスキャンの演奏モード

例：トラックを選んだとき



●音楽用CDのとき

トラック：各曲の頭を15秒ずつ演奏します。
表示窓に「**[♪ INTRO]**」が表示されます。

Off：イントロスキャンを解除

●MP3/WMAディスクまたはSDカードのとき

トラック：各ファイルの頭を15秒ずつ演奏します。
表示窓に「**[♪ INTRO]**」が表示されます。

フォルダ：各フォルダの最初のファイルの頭を15秒ずつ演奏します。
表示窓に「**[📁 INTRO]**」が表示されます。

Off：イントロスキャンを解除

- ・聞きたい曲(ファイル)が見つかったら、**[◀◀]**ボタンを押します。
- ・一通りイントロスキャンが終わると、自動で解除されます。

●イントロスキャンを解除する

手順3で「Off」を選び、**[OK]**を押します。

ディスク/SDカードを再生する(つづき)

リピート演奏の演奏モード

例:トラックを選んだとき



● 音楽用CDのとき

トラック:現在の曲をくり返し演奏します。
表示窓に「**REPEAT**」が表示されます。

Off :リピート演奏を解除

● MP3/WMAディスクまたはSDカードのとき

トラック:現在のファイルをくり返し演奏します。
表示窓に「**REPEAT**」が表示されます。

フォルダ:現在のフォルダ内の全ファイルをくり返し演奏します。
表示窓に「**REPEAT**」が表示されます。

Off :リピート演奏を解除

● リピート演奏を解除する

29ページの手順3で「Off」を選び、**OK**を押します。

ランダム演奏の演奏モード

例:ディスクを選んだとき



● 音楽用CDのとき

ディスク:CD内の全曲をランダムに演奏します。
表示窓に「**RANDOM**」が表示されます。

Off :ランダム演奏を解除

● MP3/WMAディスクのとき

フォルダ:フォルダ内の全ファイルをランダムに演奏します。
表示窓に「**RANDOM**」が表示されます。

ディスク:CD内の全ファイルをランダムに演奏します。
表示窓に「**RANDOM**」が表示されます。

Off :ランダム演奏を解除

● SDカードのとき

フォルダ:フォルダ内の全ファイルをランダムに演奏します。
表示窓に「**RANDOM**」が表示されます。

SD :SDカード内の全ファイルをランダムに演奏します。
表示窓に「**RANDOM**」が表示されます。

Off :ランダム演奏を解除

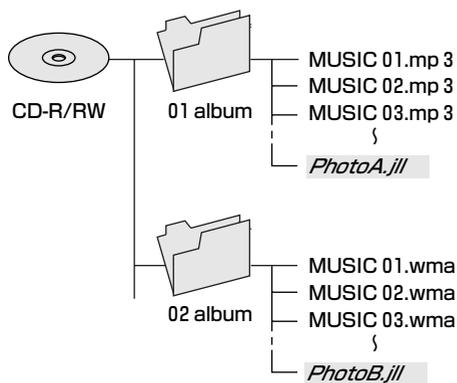
● ランダム演奏を解除する

29ページの手順3で「Off」を選び、**OK**を押します。

ミュージックリンクについて

ミュージックリンクは、イメージコンバーターで作成した画像を、お好みの音楽に合わせて表示させる機能です。

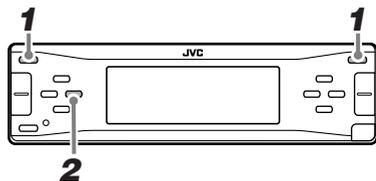
MP3/WMAファイル(音楽)とイメージコンバーターで作成した静止画を1点、同じフォルダに保存し、これをCD-R/-RWまたはSDカードに書き込みます。このフォルダを再生すると、音楽の演奏中にお好みの静止画を本機の表示窓に表示させることができます。



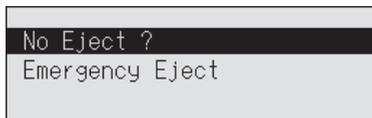
- 同じフォルダに複数の静止画があるときは、初めに表示された静止画のみ表示されます。
- ミュージックリンクの「On/Off」について詳しくは、40、41ページ「PSMモードの機能説明(1)」の「デモ/Link」をご覧ください。

ディスクの盗難防止

本機に挿入したディスクを取り出せなくすることができます。



- 1 **電源/ATT**を押したまま **上/下**を同時に2秒以上押す



- 2 「No Eject?」が選ばれているのを確認して **OK**を押す



「No Eject」が点滅してディスクの取り出しができなくなります。▲(CD取出し)ボタンを押すとCDの挿入口が現れますが、ディスクは出てきません。もう一度同じ操作を行ない、手順2で「Eject OK?」を選んで **OK**を押すと、ディスクの取り出しができるようになります。

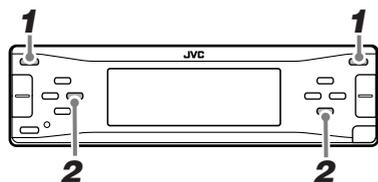
〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

ディスク/SDカードを再生する(つづき)

ディスクの強制取り出し

通常の操作でディスクが取りだせなくなったとき、強制的に排出させることができます。



- 1 **ATT**を押したまま **▲/◆**を同時に2秒以上押す

No Eject ?
Emergency Eject

- 2 **▼**を押して「Emergency Eject」を選び **OK**を押す

No Eject ?
Emergency Eject

ディスクが排出されます。

〈お知らせ〉

- 強制取り出しがうまく働かないときは、リセットボタンを押して本機をリセットしてください(⇒ 61ページ)。

画像データをダウンロードする

ダウンロードをする前に

付属のCD-ROM(イメージコンバーター*)を使うと、電源の「入/切」やソース(音源)の再生音に合わせてお好みの画像を表示窓に表示させることができます。

* イメージコンバーターとは

JVCのオリジナルソフトウェアで、自作の映像を本機の表示窓に表示させるために、編集・加工することができます。

- CD-R/-RWまたはSDカードにお気に入りの画像を書き込む

1 イメージコンバーターをパソコンにインストールする

2 イメージコンバーターを起動させる

3 素材画像を読み込む

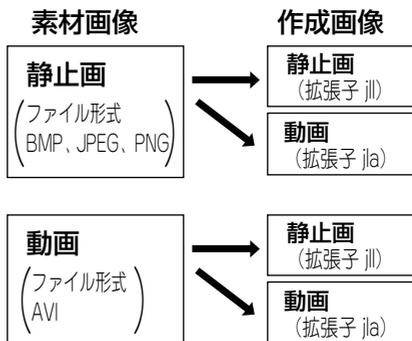
この画像を編集・加工していきます。静止画または動画を素材画像として使うことができます。

画像は、次のようなメディアから手に入れることができます。

- Web(JVCのホームページなどより)
- デジタルカメラ、デジタルビデオカメラなどのオリジナル映像
- 付属のCD-ROMにもサンプル画像が収録されています

4 画像を作成する

素材画像の形式に関わらず、静止画または動画を作成することができます。



5 作成した画像に効果を加える

各種の効果をつけたり、文字の入力を行うことができます。

6 CD-R/-RWまたはSDカードに画像を書き込む

- CD-R/-RWまたはSDカードへの書き込みについて詳しくは、お使いのライティングソフトの取扱説明書をご覧ください。
- 作成したCD-R/-RWまたはSDカードを本機に入れ、静止画または動画をダウンロードします。

画像データをダウンロードする(つづき)

● ファイル名の拡張子は

静止画が<jll>、動画が<jla>です。

● ダウンロードは

ソース(音源)が「CD」または「SD」のとき操作できます。本機に付属のCD-ROMまたは画像を書き込んだCD-R/-RW/SDカードを入れてください。

● ダウンロードや画像の消去は

- ・ 運転中に操作しない
- ・ 途中でエンジンキーを「OFF」にしない
- ・ 本機で他の操作をしない

事故の原因となったりダウンロードや画像の消去が正しくできないことがあります。

● ダウンロードが終わるまでの時間

- ・ 静止画は、1フレーム当たり約3~4秒かかります。
- ・ 動画は30フレームで約1~2分、90フレームで約4分かかります。

● ダウンロードした画像の楽しみかた

オープニング

エンディング

電源「入/切」時のデモアニメーションを設定するとき選びます。それぞれ最高30フレームまでの動画を1ファイルずつ保存できます。

動画

：最高90フレームまでの動画を1ファイル保存できます。

静止画

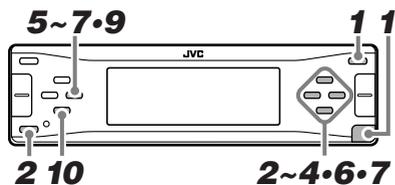
：静止画を本機に保存しておくとき選びます。30枚まで保存できます。保存した画像は、壁紙やスライドショーで楽しめます。

各設定方法は**38**ページの「ダウンロードした画像を表示する」をご覧ください。

〈お知らせ〉

- リセットボタンを押したり、バッテリーの交換などで本機への電源が途切れてもダウンロードした画像は消去されません。

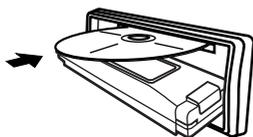
画像データをダウンロードする



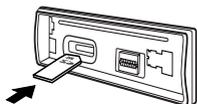
1 付属のCD-ROMまたは画像を書き込んだCD-R/-RW/SDカードを入れる

フォルダ数とファイル数が表示されます。

- ・CD-ROMまたはCD-R/-RWの場合 (→ 21ページ)



- ・SDカードの場合(→ 23ページ)



2 **[MENU]** を押して「3-D D」メニューを選ぶ

→3-D Dメニューの選びかたは、13ページをご覧ください

3 **[↑]**/**[↓]**を押して「ダウンロード」を選ぶ

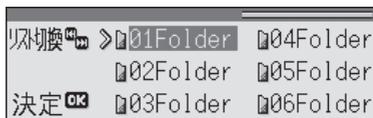


4 **[←]**/**[→]**を押してダウンロードする画像の種類を選ぶ

「オープニング」「エンディング」「静止画」「動画」から選ぶことができます (→ 34ページ)。

5 **[OK]**を押す

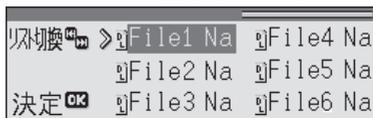
「File Check」が表示されたあとフォルダリストが表示されます。



7つ目以降のフォルダは**[←]**/**[→]**を押して選びます。

6 **[↑]**/**[↓]**を押してフォルダを選び、**[OK]**を押す

ファイルリストが表示されます。



7つ目以降のファイルは**[←]**/**[→]**を押して選びます。

7 **[↑]**/**[↓]**を押してファイルを選び、**[OK]**を押す

確認画面が表示されます。



- ・中止するときは**MENU**ボタンを押して、手順**2**に戻ります。**BACK**ボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

画像データをダウンロードする(つづき)

画像データをダウンロードする(つづき)

8 **OK**を押す

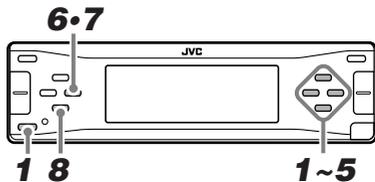
- 手順6で選んだファイル選択画面に戻るとダウンロードは終了です。
- 同じフォルダから続けて画像をダウンロードするときは、手順7、8をくり返します。
- 別のフォルダから続けて画像をダウンロードするときは、BACKボタンでフォルダ選択画面に戻り、手順6~8をくり返します。

9 **DISP**を押してダウンロード作業を終了する

〈お知らせ〉

- 「オープニング」、「エンディング」または「動画」はそれぞれ1つ登録できます。新たにダウンロードすると、自動的に上書きします。登録済みの動画は削除されます。
- 「オープニング」または「エンディング」を選択したとき、30フレーム以上の動画は最初の30フレームまでを登録します。
- 「動画」を選択したとき、90フレーム以上の動画は最初の90フレームまでを登録します。
- 「静止画」のダウンロードで静止画が30枚になると、これ以上はダウンロードできません。31枚以上ダウンロードしようとする、「Picture Full」と表示されます。いろいろな静止画を削除してからダウンロードします。
- 動作環境などによりダウンロードがうまくできないこともあります。このようなときは、ダウンロードをやり直してください。
- ダウンロードした画像データを設定するには、38、39ページの「ダウンロードした画像を表示する」を行ってください。この操作をしないとダウンロードした画像が使えません。

画像を削除する



1 **MENU**を押して「3-D D」メニューを選ぶ

→ 3-D Dメニューの選びかたは、13ページをご覧ください

2 **▲/▼**を押して、画像を選んで削除するか、全画像を削除するかを選ぶ

- 画像を選んで削除するとき
「削除」を選んで**OK**を押し、手順3へ進みます。
- 全ての画像を削除するとき
「全削除」を選んで**OK**を押します。
「全登録画像 削除OK?」と表示されます。
OKを押すと、全ての画像が削除されて、3-D Dメニュー表示に戻ります。

➡ 37ページに続く

3 /を押して削除する 画像の種類を選ぶ

- 動画を削除するとき
「動画」「オープニング」「エンディング」から削除する動画の種類を選んで  を押します。
ファイル名と「削除OK?」が表示されます。
 を押すと、動画が削除されて、3-D Dメニュー表示に戻ります。
- 静止画を削除するとき
「静止画」を選んで  を押し、手順4へ進みます。

4 /を押して、削除または全静止画削除を選ぶ

- リストから選んで静止画を削除するとき
「削除」を選んで  を押し、手順5へ進みます。
- すべての静止画を削除するとき
「全削除」を選んで  を押します。
「全登録静止画 削除OK?」と表示されます。
 を押すと、全ての静止画が削除されて、3-D Dメニュー表示に戻ります。

5 /を押して消したい 静止画を選ぶ

7つ目以降のファイルは / を押して選びます。

6 を押す

選んだファイル名と「削除OK?」が表示されます。



7 を押す

選んだファイルが削除されて、リストの表示に戻ります。
・削除を続けるときは、手順5、6をくり返します。

8 を押す

ソース(音源)表示に戻ります。

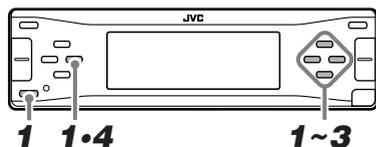
〈お知らせ〉

- 画像を消去しているときは、各ボタンの操作やディスク、SDカードの出し入れはできません。消去が終わってから操作してください。

画像データをダウンロードする(つづき)

ダウンロードした画像を表示する

- 電源「入/切」時に、ダウンロードした動画を表示する



1 **MENU** を押して「PSM」メニューを選ぶ

→ PSMメニューの選びかたは、**13**ページをご覧ください

2 **▲/▼** を押して「オープニング」または「エンディング」を選ぶ

オープニング：電源「入」時に表示する動画を設定します。

エンディング：電源「切」時に表示する動画を設定します。

例：「オープニング」を選んだとき

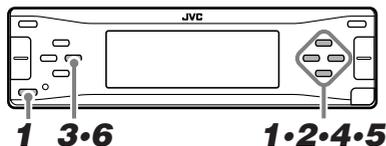


3 **◀▶/▶▶** を押して表示する動画の種類を選ぶ

初期動画：工場出荷時の動画を使います。
登録動画：ダウンロードの動画を使います。

4 **OK** を押して終了する

- 表示窓に表示する静止画または動画を表示する



1 **MENU** を押して「PSM」メニューを選ぶ

→ PSMメニューの選びかたは、13ページをご覧ください

2 **▲/▼** を押して「3-D Drive」を選ぶ



3 **OK** を押す



4 **▲/▼** を押して表示する画像の種類を選ぶ

- 静止画を表示するとき
「静止画」を選んで、手順5へ進みます。
・ダウンロードした静止画のうち、選んだ1枚が表示されます。
- 動画を表示するとき
「動画」を選んで、手順6へ進みます。
・ダウンロードした動画が表示されます。
- スライドショー表示をするとき
「スライドショー」を選んで、手順6へ進みます。
・ダウンロードした静止画が順に表示されます。

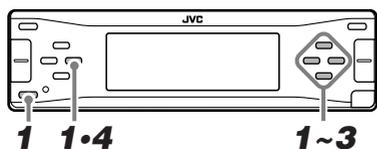
5 「静止画」を選んだときは、**◀▶** を押して表示する画像を選ぶ

6 **OK** を押して終了する

演奏中に **DISP** を押して「ダウンロードした画像」にすると、設定した画面が表示されます(→14ページ)。

PSMモードの各種設定と調節

PSMモードの設定方法



1 **MENU** を押して「PSM」メニューを選ぶ

→ PSMメニューの選びかたは、**13**ページをご覧ください。

2 **←/→** を押して項目を選ぶ

→ 「PSMモードの一覧」をご覧ください。

3 **←/→** を押して設定または調節をする

- ・ **BACK** を押すと一つ前の画面に戻ります。
- ・ 項目によっては、**OK** を押すと更に詳細項目が表示される場合があります。その場合、手順**2**と**3**をくり返して設定します。

→ 各項目の設定の詳細は、**41~43**ページをご覧ください。

4 **OK** を押す

- ・ 押さないときは、15秒後に自動で終了します。

〈お知らせ〉

- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れた場合、またはリセットボタンを押して本機をリセットしたときは、設定した内容は初期設定に戻ります。

PSMモードの一覧(1)

設定内容の太字は出荷時の設定(初期設定)です。

モード	設定	設定内容	参照ページ
デモ/Link	デモ/リンク設定	デモモード、Music Link、Off	41 ページ
3-D Drive	画像表示設定	静止画*1、動画*1、スライドショー*1	41 ページ
キーアニメーション	アニメーション効果設定	On、Off	41 ページ
オープニング*1	オープニングアニメ設定	初期動画、登録動画	38、42 ページ
エンディング*1	エンディングアニメ設定	初期動画、登録動画	38、42 ページ
時計(時)	時刻設定(時)	1~12	15、42 ページ
時計(分)	時刻設定(分)	00~59	15、42 ページ
24時/12時	時間表示設定	12時間表示 、24時間表示	15、42 ページ
文字スクロール	スクロール設定	1回、自動繰返し、Off	42 ページ
ディマー	ディマー設定	ライト連動、Off、On、タイムコントロール	42、44 ページ
タイムコントロール*2	ディマー時刻設定	開始時刻-終了時刻(6PM-7AM)	42、44 ページ

*1 本機に画像データをダウンロードしていないときは表示されません。

*2 「ディマー」が「タイムコントロール」に設定されていないときは表示されません。

PSMモードの一覧(2)

設定内容の太字は出荷時の設定(初期設定)です。

モード	設定	設定内容	参照ページ	
コントラスト	コントラスト設定	1~5~10	42ページ	
LCDタイプ	液晶表示設定	ディマー連動、ポジ、ネガ	42ページ	
タグ表示	タグ表示設定	On, Off	42ページ	
レベルメーター	レベルメーター設定	ソースアニメーション、メーター 1、メーター 2、メーター 3	42ページ	
受信地域	チューナー設定	設定なし、北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄	42ページ	
IFフィルター	IFフィルター設定	自動切換、ワイド	43ページ	
ビープ音	キー入力音設定	On, Off	43ページ	
外部入力*3	外部機器設定	Changer, Ext In	43ページ	
ミュートイング	ミュートイング設定	設定1、設定2、Off	43ページ	
アンプゲイン	アンプ出力設定	最大音量50、最大音量30	43ページ	
ソースカラー選択	表示色設定	「表示窓の色を変更する(⇒45ページ)」をご覧ください		
カラー調節	色設定	ディマー Off、ディマー On	45、46ページ	
	Red	赤色	00~11 (ディマー Off 07、ディマー On 05)	45、46ページ
	Green	緑色	00~11 (ディマー Off 07、ディマー On 05)	45、46ページ
	Blue	青色	00~11 (ディマー Off 07、ディマー On 05)	45、46ページ

*3 ソース(音源)が「CD-CH」または「Ext In」のときは表示されません。

PSMモードの機能説明(1)

デモ/Link

表示窓のデモ表示とミュージックリンクを設定します。

- ・デモモード : 20秒以上何も操作をしないとデモ表示になります。
- ・Music Link : MP3/WMAのフォルダから曲(ファイル)の演奏に合わせてお好みの静止画を表示することができます。
- ・Off : デモ表示なし。

3-D Drive

表示窓のグラフィック表示を設定します。

- ・静止画 : 「静止画」に保存した画像をデモ表示します。
 - ・動画 : 「動画」に保存したアニメをデモ表示します。
 - ・スライドショー : 「静止画」に保存した画像を順番に表示します。
- ・画像をダウンロードしていないときは表示されません。詳しくは「画像データをダウンロードする」(⇒33~39ページ)をご覧ください。

- ・「デモモード」について
景色、EQ設定アニメなどを表示します。

キーアニメーション

電源のオン/オフ、iEQの選択時などに表示される動画アニメを設定します。

- ・On : アニメを表示します。
- ・Off : アニメを表示しません。

PSMモードの各種設定と調節(つづき)

PSMモードの機能説明(2)

オープニング

電源を「入」にしたときに表示される動画アニメを設定します。詳しくは**38**ページをご覧ください。

- ・初期動画：通常のアニメを表示します。
- ・登録動画：ダウンロードしたアニメを表示します。

エンディング

電源を「切」にしたときに表示される動画アニメを設定します。詳しくは**38**ページをご覧ください。

- ・初期動画：通常のアニメを表示します。
- ・登録動画：ダウンロードしたアニメを表示します。

時計(時)/時計(分)

「時」「分」ごとに、時刻を設定します。

24時/12時(時間表示設定)

時計の時間表示方式を設定します。

- ・12時間表示：12時間表示方式。
- ・24時間表示：24時間表示方式。

文字スクロール

表示窓の文字表示(8文字以上)がスクロール表示されるときのモードを変えることができます。

- ・1回：名前表示を切換えたときまたはDISPボタンを押したとき、1回スクロールする。
- ・自動繰返し：一定間隔でスクロールをくり返す。
- ・Off：DISPボタンを1秒以上押したときだけスクロールする。

ディマー

表示窓の明るさを状況に応じて変えることができます。詳しくは**44**ページをご覧ください。

- ・ライト連動：車両のライトの「ON/OFF」に連動して明るさが変わります。
(本機のイルミネーションコントロールコードを車両のイルミ電源に接続しておきます)
- ・Off：明るさは変わりません。
- ・On：常時暗くなります。
- ・タイムコントロール：「開始時刻-終了時刻」で設定した時刻になると自動的にディマーが働きます。

コントラスト

表示窓のコントラストを調節することができます。運転席から表示窓がよく見えるように調節します。

- ・1~10の範囲で調節できます。

LCDタイプ

- ・ディマー連動：ディマーの設定に従います。
ディマー Off：ポジ
ディマー On：ネガ
- ・ポジ：通常タイプ
- ・ネガ：通常反転表示

タグ表示

MP3/WMAディスクのTag表示を表示させるかどうかを設定することができます。

- ・On：Tag表示をする。
- ・Off：Tag表示をしない。

レベルメーター

表示される音量レベルメーターを設定します。

- ・ソースアニメーション：ソース(音源)ごとのアニメーションを表示します。レベルメーターは表示されません。
- ・メーター 1： } レベルメーターが表示されます。
- ・メーター 2： }
- ・メーター 3： }

受信地域

お使いになる地域の放送局を受信したとき、自動でその放送局名を表示させることができます。

- ・設定なし：放送局名は表示しません。
- ・北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄：「ご利用の地域」を選んでください。

(地域ごとの放送局名は、「放送局名一覧」
(⇒ **66**~**69**ページ)をご覧ください)

PSMモードの機能説明(3)

IFフィルター

隣接妨害波の影響を軽減することができます。

- ・自動切換 : 隣接妨害波の有無によって自動でIFフィルターの帯域幅を切り換えます。
- ・ワイド : 通常の帯域幅のIFフィルターに固定します。

ビープ音

- ・On : 操作する際にビープ音「ピッ」が鳴ります。
- ・Off : ビープ音「ピッ」は鳴りません。

外部入力

CDチェンジャー端子に別売りの変換コードKS-U57/KS-U58を使用して他の機器を接続するときは「Ext In」に切換えます。CDチェンジャー端子がExt In端子になります

- ・Changer : CDチェンジャーを接続するとき
- ・Ext In : KS-U57/KS-U58を使用して他の機器を接続するとき

ソース(音源)が、「CD-CH」または「Ext In」のときには、このモードは選べません。ラジオなど他のソース(音源)を選んでから設定を変更してください。

ミュートイング

市販のカーナビゲーションのボイスコマンド入力時または音声ガイド中に、本機の音声を一時的に消音(ミュートイング)することができます。(初期設定: [OFF])

- ・設定 1 : [ミュートイング]コード(茶)を接続したあと、通常はこの位置で使います。ミュートイングが正しく動作することを確認してください。
- ・設定 2 : 設定 1ではミュートイングが「入/切」しないとき。ミュートイングが正しく動作することを確認してください。
- ・Off : 本機能を使用しないとき。または設定 1/2ともミュートイングが正しく動作しないとき、この位置にします。

市販のカーナビゲーションの中には、本機能が正しく動作しないものもあります。

アンプゲイン

純正スピーカーを壊さないために、本機に接続しているスピーカーの最大入力ワット数に合わせて設定します。

- ・最大音量50 : スピーカーの最大入力が50Wを超えるとき
(Volume 00 ~ Volume 50)
- ・最大音量30 : スピーカーの最大入力が50W以下のとき
(Volume 00 ~ Volume 30)

ソースカラー選択/カラー調節

45、46ページをご覧ください。

PSMモードの各種設定と調節(つづき)

表示窓の明るさを変更する

表示窓の明るさを状況に応じて変えることができます。

1 を押して「PSM」メニューを選ぶ

→ PSMメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

2 を押して「ディマー」を選ぶ

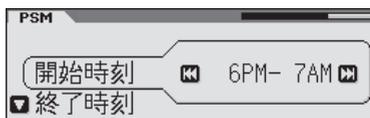


3 を押して設定を変更する

- ・ **ライト連動**：車両のライトの「ON/OFF」に連動して明るさが変わります。
→ 手順8へ進みます。
- ・ **Off**：明るさは変わりません。
→ 手順8へ進みます。
- ・ **On**：常時暗くなります。
→ 手順8へ進みます。
- ・ **タイムコントロール**：
：「開始時刻～終了時刻」で設定した時刻になると自動的にディマーが働きます。
→ 手順4へ進みます。

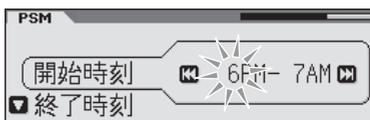
4 を押す

時刻設定画面が表示されます。



5 を押してディマーの開始時刻を選ぶ

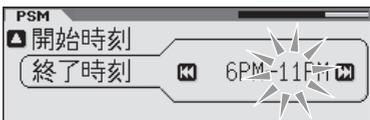
例：午後6時のとき



6 を押して「終了時刻」を選ぶ

7 を押してディマーの終了時刻を選ぶ

例：午後11時のとき



8 を押して設定を終了する

表示窓の色を変更する

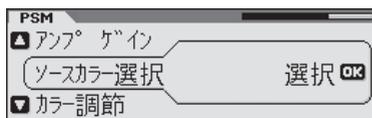
表示窓をお好みの色に調節することができます。ソース(音源)ごとに設定することもできます。

- ソース(音源)ごとに色を設定する

1 を押して「PSM」メニューを選ぶ

→ PSMメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

2 を押して「ソースカラー選択」を選ぶ



3 を押す



4 を押して色を変えるソース(音源)を選ぶ

- ・「全ソース共通」を選ぶと、全てのソース(音源)で表示窓を同じ色に設定できます。

5 を押して表示窓の色を選ぶ

ボタンを押すと、次のように設定色が切り換わります。

自動繰返し*1: アクア エスカイブルー
 マリンブルー エイロー リーブ
 グリーン グラス エアップル レッド
 ローズ レッド エアンバー
 ハチミツ イエロー エバイオレット
 グレープ エライトブルー
 ユーザー カラー*2 (最初に戻る)

*1 「自動繰返し」を選ぶと、表示窓が「アクア」から「ライトブルー」までの色に2秒間隔で変化します。

*2 「ユーザー カラー」を選ぶと、「ディママー Off」と「ディママー On」の2つのユーザー設定ができます。詳しくは、46ページをご覧ください。

6 手順4、5をくり返し、ソース(音源)ごとの色を選ぶ

7 を押して設定を終了する

PSMモードの各種設定と調節(つづき)

表示窓の色を変更する(つづき)

- お好みの色を設定する

1 **[MENU]** を押して「PSM」メニューを選ぶ

→ PSMメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

2 **[↑]/[↓]** を押して「カラー調節」を選ぶ



3 **[←]/[→]** を押して「デイマー Off」または「デイマー On」を選ぶ

デイマー Off：日中の表示窓の色を設定します。

デイマー On：夜間の表示窓の色を設定します。

日中/夜間の設定は、「デイマー」設定で次のように決まります。

ライト連動：ヘッドライトを点灯させると、夜間の色になります。日中の表示窓の色を設定します。

Off：常に日中の表示窓の色に設定します。

On：常に夜間の表示窓の色に設定します。

タイムコントロール

：タイマー設定した時間で、夜間の表示窓の色になります。

4 **[OK]** を押す

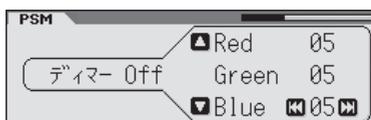
色の設定画面が表示されます。

例：「デイマー Off」を選んだとき



5 **[↑]/[↓]** を押して調節する色 (Red:赤、Green:緑、Blue:青) を選ぶ

6 **[←]/[→]** を押して色の明るさを調節する



手順5,6をくり返し他の色も調節します。

7 **[OK]** を押して設定を終了する

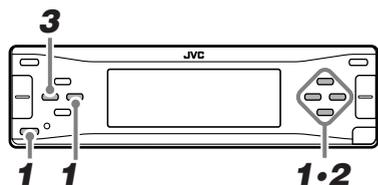
iEQ*の使いかた

EQパターンを選ぶ

本機には、あらかじめ9つのEQパターンがメモリーされています。「User 1」～「User 3」には、お好みのiEQパターンが設定できます。

*iEQとは：

intelligent Equalizer (インテリジェントイコライザー)の略で「等化器」とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の相称。



● 選択可能なEQパターン

- ・ Flat : フラットな音で出力されます。
- ・ Hard Rock : ハードロック
- ・ R&B : リズム&ブルース
- ・ Pop : ポップ
- ・ Jazz : ジャズ
- ・ Dance : ダンスミュージック
- ・ Country : カントリーミュージック
- ・ Reggae : レゲエ
- ・ Classic : クラシック
- ・ User 1 } : ユーザー設定
- ・ User 2 }
- ・ User 3 }

1 を押して「EQ」メニューを選ぶ

→ EQメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

2 を押してiEQパターンを選ぶ

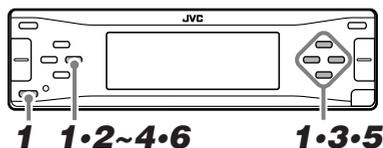


例: 「Flat」を選んだとき

3 を押す

選んだEQパターンでソース(音源)を聞くことができます。

調節したEQパターンを記憶(メモリー)する



1 調節したいEQパターンを選ぶ

→ EQパターンの選びかたは、「EQパターンを選ぶ」をご覧ください。

2 を押してEQの調節モードにする

 48ページに続く

iEQの使いかた (つづき)

3 EQを調節する

(例:バンドが「Low」のとき)

- 3-1** ◀/▶ を押してバンド (Low, Mid, High) を選ぶ



- 3-2** ▲/▼ を押してEQレベルを調節する (00±06)

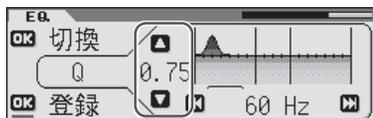


- 3-3** OK を押す

- 3-4** ◀/▶ を押して周波数を選ぶ



- 3-5** ▲/▼ を押してQ(バンド幅)を調節する



- 3-6** 手順**3-1**~**3-5**をくり返して他の周波数帯を調節する

4 OK を2秒以上押す

調節したEQパターンをメモリーする確認画面になります。



- 5** ▲/▼ を押してメモリーしておくパターン(User 1~User 3)を選ぶ

- 6** OK を押す

「登録中」が表示され、調節したEQパターンがメモリーされます。



● 調節範囲

バンド	調節範囲		
	Low	Mid	High
EQレベル	-06 } +06	-06 } +06	-06 } +06
周波数	60Hz 80Hz 100Hz 120Hz	Fix (固定)	8kHz 10kHz 12kHz 15kHz
Q (バンド幅)	Q 0.5 Q 0.75 Q 1.0 Q 1.25	Q 1.0 Q 1.85	Fix (固定)

〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと調節したEQパターンは初期値(工場出荷時)に戻ります。
- バンドが「Mid」の周波数と「High」のQ(バンド幅)は調節できません。Fix(固定)です。

音量・音質の調節

スピーカーの出力バランスを調節する

左右のスピーカーからの音声の出力バランスや、前後の出力バランスを調節します。

1 **[MENU]** を押して「SEL」メニューを選ぶ

→SELメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

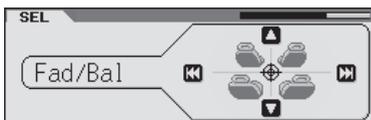
2 **[▲]/[▼]** を押して「Fad/Bal」を選ぶ

フェーダー/バランス



3 **[OK]** を押す

出力バランス調節画面が表示されます。



4 出力バランスを調節する

- 左右のバランス(Bal)を調節する:
[◀]または**[▶]**を押します。
- 前後のバランス(Fad)を調節する:
[▲]または**[▼]**を押します。
- 設定が終わったら
[OK]を押します。
- 元の画面に戻すには、**[BACK]**を押します。

〈お知らせ〉

- 2スピーカー接続のときは、**Fad**は初期設定の位置に設定してください。

サブウーハーの音量を調節する

1 **[MENU]** を押して「SEL」メニューを選ぶ

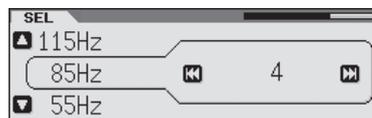
→SELメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

2 **[▲]/[▼]** を押して「サブウーハー」を選ぶ



3 **[OK]** を押す

サブウーハー調節画面が表示されます。



4 出力バランスを調節する

- カットオフ周波数を調節する:
[▲]または**[▼]**を押します。
55Hz/85Hz/115Hzから選択できます。
- サブウーハーの出力を調節する:
[◀]または**[▶]**を押します。
0~8の範囲で設定できます。
- 設定が終わったら
[OK]を押します。
- 元の画面に戻すには、**[BACK]**を押します。

〈お知らせ〉

- サブウーハー音量調節は、サブウーハーを接続しているときに有効です。

音量・音質の調節(つづき)

ソース(音源)ごとの音量差を調節する

AM放送やLINE INなどの音がFM放送の音より小さい(または大きい)ときは、音量差を調節することができます。

調節する前に、ソース(音源)を選びます。

1 **[MENU]** を押して「SEL」メニューを選ぶ

→SELメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

2 **[▲]/[▼]** を押して「ボリューム調節」を選ぶ



3 **[▼|▲]/[▶|◀]** を押してソースの音量を調節する

-5~+5の範囲で、音量を調節できます。

- 設定が終わったら

[OK] を押します。

・元の画面に戻すには、**[BACK]** を押します。

〈お知らせ〉

- ボリューム調節は、FM放送の音量を基準にしています。したがってソース(音源)がFMのときは、表示窓に「Fix」が表示され調節できません。

ラウドネスを「On」にする

ラウドネスを「On」にすると、音量が小さいときでも高音と低音のバランスの取れた音を聞くことができます。

1 **[MENU]** を押して「SEL」メニューを選ぶ

→SELメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

2 **[▲]/[▼]** を押して「ラウドネス」を選ぶ



3 **[▼|▲]/[▶|◀]** を押して「On/Off」を切り換える

・ラウドネスを「On」にする:

[▶|◀] を押します。

・ラウドネスを「Off」にする:

[▼|▲] を押します。

- 設定が終わったら

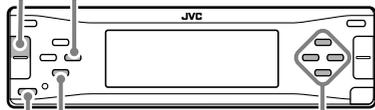
[OK] を押します。

・元の画面に戻すには、**[BACK]** を押します。

放送局名/ディスク名を登録する

30局分/最大10文字の放送局名と30枚分/最大32文字のディスク名、最大8文字のLine InとExt Inの名称を登録しておくことができます。

1 2・4



2 3

2・3

1 文字を入力したいソース(音源)を選ぶ

- FM, AM, CD, CD-CH, LINE IN, EXT IN のいずれかを選びます。

2 **MENU** を押して「TITLE」メニューを選ぶ

→ TITLEメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

3 文字を入力する

例: CDの名称を入力するとき



3-1 **DISP** を押して文字の種類を選ぶ

英大文字 → 英小文字
↑ ↓
カタカナ ← 数字・記号

- 文字の種類については70ページの「文字記列表」をご覧ください。

3-2 **▲**/**▼** を押して文字を選ぶ

3-3 **▶▶▲** を押してカーソルを移動させて、文字を入力する

カーソルを左に戻すときは **◀◀** を押します

3-4 手順3-1～3-3をくり返す

- 文字を間違えたときは、**◀◀**でカーソルを戻し **▲**/**▼** で正しい文字を上書きします。
- スペース(空白)を選んで **▶▶▲** を押すと、文字を消すこともできます。

4 **OK** を押して入力を確定する

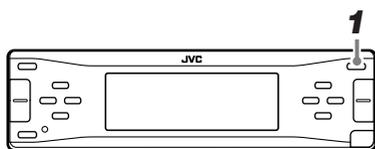
- 入力した文字を確定するときは、必ず **OK** を押してください。押さないと確定されません。

〈お知らせ〉

- CDテキストやMP3/WMAディスクには、ディスク名の登録ができません。
- 31局目の放送局名または31枚目のディスク名を入力しようとしても、「Name Full」が点滅表示されて入力モードに入ることとはできません。この場合、あらかじめ不要な名称を削除してから再度入力してください。
- 手順3で **DISP** を1秒以上押すと、一括して消去することができます。このあと必ず **OK** ボタンを押して確定してください。これにより削除されます。

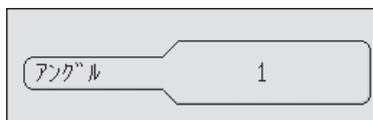
コントロールパネルの角度を変える

コントロールパネルの角度を4段階に調節することができます。



1 を1秒以上押す

角度の調節画面が表示されます。



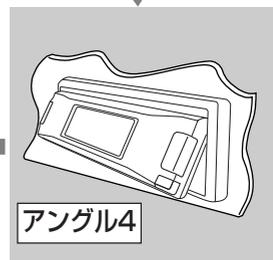
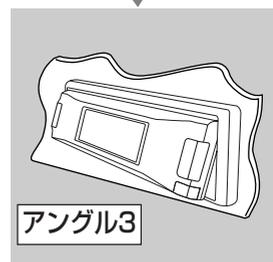
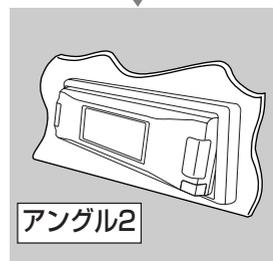
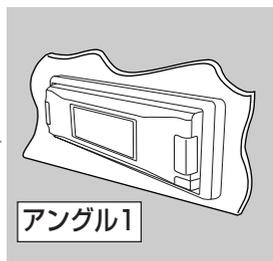
この表示が出ている間に  を押しごとに、コントロールパネルの角度が右図のように変化します。

リモコンで操作するときは

 を押して調節します。

ご注意

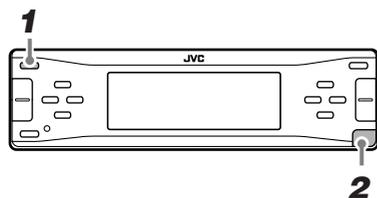
- コントロールパネルが動いているときに、本体との間に指などはさまないようにしてください。けがや故障の原因となることがあります。
- 角度を変えて使っているとき、電源を「切」にすると、一番上の角度に戻ってから切れます。再び電源を「入」にすると、元の角度に戻ります。



コントロールパネルの着脱

コントロールパネルを外す

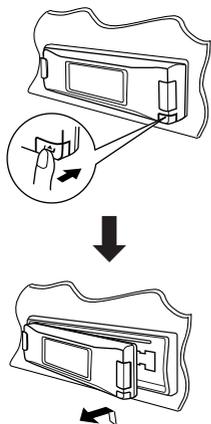
コントロールパネルを取り外すことができます。
電源を「切」にしてから操作します。



1  **ATT** を1秒以上押しして電源を「切」にする

2  を押す

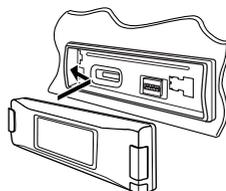
コントロールパネルのロックが外れます。



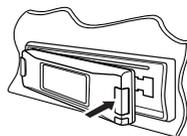
コントロールパネルを少し持ち上げて
ゆっくり本体から外します。

コントロールパネルを取り付ける

1 コントロールパネルを本体の内側の溝に左側から合わせる



2 コントロールパネルの右側を静かに押して、本体に取り付ける



コントロールパネルの右端を「カチッ」と音がするまで押します。

コントロールパネルの角度を変える・コントロールパネルの着脱

〈お知らせ〉

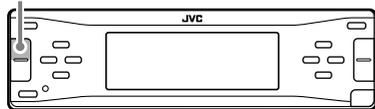
- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。

CDチェンジャー(別売り)のディスクを聞く

- 準備** ● CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいディスクを入れておきます。

全曲演奏(全ディスクのくり返し再生)

1



1 を押してソース(音源)を「CD-CH」にする

押すごとにソース(音源)が切替わります(⇒ 12ページ)。

本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます。「Ext Input」設定を「Changer」に設定します(⇒ 40.41.43ページ)。

- **オーディオCDのとき**
最初のCDの1曲目から再生が始まります。

演奏中のディスク番号と経過時間



演奏中のディスク名*1 演奏中のトラック名*2

*1 ディスク名を入力したCDまたはCD TEXTのとき表示されます。入力する前は「No Name」と表示されます。ディスク名の入力については51ページの「放送局名/ディスク名を登録する」をご覧ください。

*2 曲名はCD TEXTのみ表示されます。

- **本機でコントロールできるチェンジャーについて**
 - ・CH-MPシリーズのMP3チェンジャー
 - ・CH-XシリーズのCDチェンジャー (CH-X99を除く)

KD-MKシリーズのCDチェンジャーは、コントロールできません。

- **MP3ディスクのとき**
ファイルチェック後、最初のフォルダのトラック1から再生が始まります。



演奏中の ディスク番号 演奏中の フォルダ番号 演奏中の トラック番号 経過時間



演奏中のファイル名*3 演奏中のフォルダ名*3

- *3 Tagのあるファイルのときは、「タグ表示」設定を「On」にするとフォルダ名の代わりにアルバム/演奏者名、ファイル名の代わりに曲名が表示されます(⇒ 40~42ページ)。

● 演奏をやめる

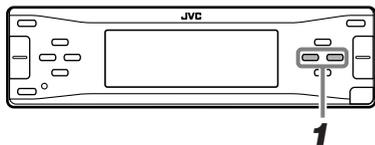
 を押して、他のソース(音源)に切替えます。または電源を「切」にします。

〈お知らせ〉

- CDチェンジャーでは、WMAディスクの再生はできません。
- MP3ディスクの再生は、MP3チェンジャーを本機に接続しているときに限ります。
- 多くの階層を持つディスクやCD-ROMに記録したディスク、マルチセッションディスクでは再生が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで再生できます。
詳しくは、MP3チェンジャーに付属の「音楽用ファイルMP3 Q&A集」をご覧ください。

早送り/早戻しをする(サーチ)

演奏する速度を変えて、聞きたいフレーズに素早く移動できます。



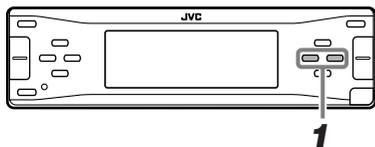
1 [FF] / [FR] を押し続ける

早戻し演奏に [FR] [FF] 早送り演奏になります。

ボタンを離すと、通常の演奏に戻ります。

頭出しをする(スキップ)

前後の曲(ファイル)の頭にスキップすることができます。



1 [PREV] / [NEXT] を押す

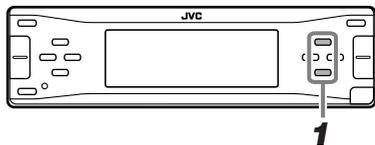
ボタンを押すごとに前後の曲(ファイル)の頭に移動します。

現在の曲の頭または、前の曲に移動します。 [PREV] [NEXT] 次の曲の頭に移動します。

次または前のフォルダにスキップする

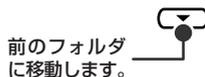
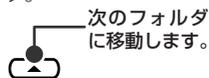
MP3 ディスクの場合のみ

ディスク内のフォルダの演奏順序に従って、フォルダを選ぶことができます。



1 [UP] / [DOWN] を押す

ボタンを押すごとにフォルダが切り換わり、選んだフォルダの最初のファイルの演奏が始まります。



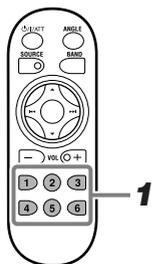
<お知らせ>

- 最後のフォルダまで移動した後に次のフォルダを選ぶと、最初のフォルダに戻ります。また、最初のフォルダまで移動した後に前のフォルダを選ぶと、最後のフォルダに移動します。

CDチェンジャー(別売り)のディスクを聞く(つづき)

リモコンでダイレクトにディスクを選ぶ

リモコンでディスクをダイレクトに選びます。



1 数字ボタン(1~6)を押す

- 1~6枚目を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ボン」と押します。

例: 3枚目を選ぶ

③ を「ボン」と押します。

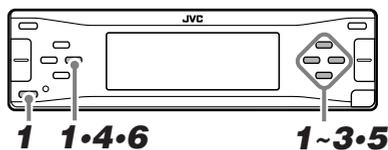
- 7~12枚目を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

例: 12枚目を選ぶ

⑥ を1秒以上押します。

プレイリストを見ながら選ぶ

演奏中のフォルダ名やファイル名をリストを見ながら選ぶことができます。



1 [MENU] を押して「MODE」メニューを選ぶ

→ MODEメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

2 [↑]/[↓] を押して「リスト」を選ぶ



3 [←]/[→] を押してリストを選ぶ

ディスク : ディスク名のリストを表示します。
フォルダ* : フォルダ名のリストを表示します。
ファイル* : ファイル名のリストを表示します。

* MP3ディスクのときのみ選べます。

4 **OK** を押す

ディスク名またはフォルダ名、ファイル名のリストが表示されます。

例:フォルダ名リスト

現在のディスクまたはフォルダ、
ファイルは反転表示されます



リストには最大6つまで表示されます。
表示されていないディスクまたはフォルダ、ファイルは、**◀▶**/**▶▶**を押して表示させます。

5 **▲/▼**を押してディスクまたはフォルダ、ファイルを選ぶ

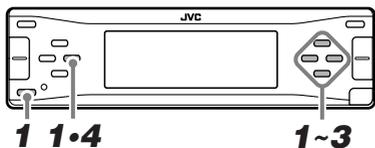
6 **OK** を押す

選んだディスクまたはフォルダ、ファイルの再生が始まります。

- ・ ディスク名リストで現在のディスクを選び、そのディスクがMP3ディスクの場合は、フォルダ名リストが表示されます。
- ・ フォルダ名リストで現在のフォルダを選んだ場合は、ファイル名リストが表示されます。

CDチェンジャー(別売り)のディスクを聞く(つづき)

いろいろな再生モードを使用する



1 **MENU** を押して「MODE」メニューを選ぶ

→ MODEメニューの選びかたは、13ページをご覧ください。

2 **▲/▼** を押して再生モードを選ぶ

イントロ：曲の頭を15秒ずつ演奏します(イントロスキャン)。

リピート：曲をくり返し演奏します。

ランダム：曲をランダムに演奏します。

例：リピートを選んだとき



3 **◀▶/▶▶** を押して演奏モードを選ぶ

演奏のモードについては、各再生モードをご覧ください。

4 **OK** を押す

選択した演奏モードの再生が始まります。

イントロスキャンの演奏モード

例：トラックを選んだとき



● 音楽用CDのとき

トラック：各曲の頭を15秒ずつ演奏します。
表示窓に「**INTRO**」が表示されます。

ディスク：マガジン内の全ディスクの頭を15秒ずつ演奏します。

表示窓に「**INTRO**」が表示されます。

Off：イントロスキャンを解除

● MP3ディスクのとき

トラック：各ファイルの頭を15秒ずつ演奏します。

表示窓に「**INTRO**」が表示されます。

フォルダ：各フォルダの最初のファイルの頭を15秒ずつ演奏します。

表示窓に「**INTRO**」が表示されます。

ディスク：マガジン内の全ディスクの頭を15秒ずつ演奏します。

表示窓に「**INTRO**」が表示されます。

Off：イントロスキャンを解除

・聞きたい曲(ファイル)が見つかったら、**◀◀**ボタンを押します。

・一通りイントロスキャンが終わると、自動で解除されます。

● イントロスキャンを解除する

手順3で「Off」を選び、**OK**を押します。

リピート演奏の演奏モード

例:トラックを選んだとき



● 音楽用CDのとき

トラック : 現在の曲をくり返し演奏します。
表示窓に「 REPEAT」が表示されます。

ディスク : 現在のディスクをくり返し演奏します。
表示窓に「 REPEAT」が表示されます。

Off : リピート演奏を解除

● MP3ディスクのとき

トラック : 現在のファイルをくり返し演奏します。
表示窓に「 REPEAT」が表示されます。

フォルダ : 現在のフォルダ内の全ファイルをくり返し演奏します。
表示窓に「 REPEAT」が表示されます。

ディスク : 現在のディスクをくり返し演奏します。
表示窓に「 REPEAT」が表示されます。

Off : リピート演奏を解除

● リピート演奏を解除する

58ページの手順**3**で「Off」を選び、を押します。

ランダム演奏の演奏モード

例:ディスクを選んだとき



● 音楽用CDのとき

ディスク : CD内の全曲をランダムに演奏します。
表示窓に「 RANDOM」が表示されます。

オール : マガジン内の全曲をランダムに演奏します。
表示窓に「 RANDOM」が表示されます。

Off : ランダム演奏を解除

● MP3ディスクのとき

フォルダ : フォルダ内の全ファイルをランダムに演奏します。
表示窓に「 RANDOM」が表示されます。

ディスク : CD内の全ファイルをランダムに演奏します。
表示窓に「 RANDOM」が表示されます。

オール : マガジン内の全曲をランダムに演奏します。
表示窓に「 RANDOM」が表示されます。

Off : ランダム演奏を解除

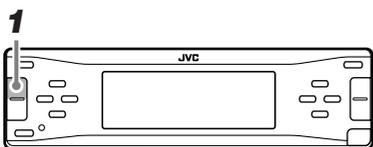
● ランダム演奏を解除する

58ページの手順**3**で「Off」を選び、を押します。

他の機器の音を聞く

準備

- LINE IN端子またはチェンジャー端子に市販のカーAV機器を接続しておきます。
→別紙の取付説明書参照



〈お知らせ〉

- EXT INに接続ができる他の機器は、RCAの2チャンネル出力端子またはステレオミニ出力端子付のものを用意してください。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- FM放送より音量が小さい(または大きい)ときは、SELメニューで「ボリューム調節」を選び、/ を押すと音量差を調節することができます(→50ページ)。

1 をくり返し押してソース(音源)を選ぶ

押すごとにソース(音源)が切りかわります(→12ページ)。

LINE IN : LINE IN端子に接続した機器の音を聞くと選びます。



EXT IN : CDチェンジャーの代わりに、別売りのKS-U57/KS-U58を使用して接続した機器の音を聞くと選びます。「外部入力」設定(→40、41、43ページ)を「Ext In」に設定しているときに選べます。



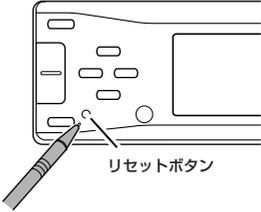
2 接続した機器で再生を始める

- 接続した機器に音量調節があるときは、FM放送の音量と同じ程度に聞こえるように調節してください。

故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

他の機器の音を聞く・故障かな?と思う前に

症 状	原 因 ・ 処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 → ボールペンなどで軽くリセットボタンを押す。  <p>(時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、工場出荷時の状態に戻ります)</p>
電源を切っても「ATT」が点滅表示する。	<ul style="list-style-type: none"> ● ⏻(電源)/ATTボタンを電源が切れるまで(1秒以上)押す。
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源(ACCライン) コード(赤)が接続されていないため ● 車のエンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」のため (⇒ 12ページ)
ディスクの取出しができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 盗難防止状態になっている。 → ⏻(電源)/ATTボタンを押しながら▲(ディスク取り出し)ボタンを2秒以上押して、「Eject OK?」の表示を確認した後OKボタンを押す(⇒ 31ページ)。
ディスクを入れても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量を適度に調節する。 ● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 → ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。 ● CD規格(CD-DA)に準拠しないCDを使用している。 → ディスクのマークを確認する(⇒ 22ページ)。
CD-R/-RWの再生やスキップ演奏ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイナライズ処理がされていないため → ファイナライズ処理したディスクと交換する。 または録音した機器でファイナライズ処理をする。
ディスクの出し入れのとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● この動作のときは、音声にミュートイングをかけて雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。
再生の途中でディスクが音飛びしたり停止する。	<ul style="list-style-type: none"> ● CD-R/-RWにラベルなどが張ってあるため、温度上昇によりディスクが反っている。 → ラベルなどを張ったディスクは使用しない(⇒ 7ページ)。
フォルダやファイル名が「_」表示になる。	<ul style="list-style-type: none"> ● MP3/WMAディスクで、フォーマットが異なっている

故障かな?と思う前に (つづき)

症 状	原 因 ・ 処 置
MP3/WMAのフォルダ/ファイルが意図した順番に再生されない。	●MP3/WMAファイルの再生順序は、使用したライティングソフトによる書き込み順でディスクに記録されるため、パソコン上のフォルダ/ファイル順と異なることがあります。
MP3/WMAディスクの再生経過時間表示が実際の経過時間と異なる。	●MP3/WMAファイルがVBR(可変ビットレート)で作成されている。VBR(可変ビットレート)で作成されたファイルの時間表示には誤差が生じます。特に、早送り/早戻しをすると、経過時間が大きくずれることがあります。
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	●アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。 ●放送局の周波数に正しく合わせる。 ●携帯電話などを本機から離す。

こんな表示のときは

表 示	原 因 ・ 処 置
No Name	●ディスク名や曲名が記録されていない。 →ディスク名または曲名が記録されているディスクを入れる。 ●放送局名が入力されていない。 →放送局名を入力する。
Not Support	●ファイルのフォーマット(形式)が適切でない。 →正しいフォーマットのファイルを含むディスクまたはSDカードを入れる。
No Music	●フォルダにMP3/WMAファイルが含まれていない。 →MP3/WMAファイルを含むフォルダを選ぶ。 ●ディスクまたはSDカードに<.jll>または<.jla>のファイルしか記録されていない。 →MP3/WMAファイルを含むディスクまたはSDカードを入れる。
SD Loading Error	●SDカードの認識ができなかったため。 →SDカードを正しく差し込む(→23ページ)。
Read Failed	●ファイルのフォーマット(形式)が適切でない。 →FAT12/16形式でフォーマットしたSDカードを入れる。

表示

表示窓に**LOWTEMP**(LOW TEMP.)が表示され、デモ表示などのアニメーションが表示されない。また文字がスクロールしない。

原因・処置

- 冬期低温下に長時間駐車したため本機の温度が0℃以下になっている。
→そのままラジオを聞くなどして本機の温度が上昇するまで待つ。

● CDチェンジャー

No Magazine

- マガジンが入っていないときソース(音源)を「CD-CH (CDチェンジャー)」にしたため
→マガジンを入れる。

RESET 08

- CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため
→CDチェンジャーとの接続コードを確認する。

RESET ^{数字} 0

- CDチェンジャー本体にエラーが発生したため
→CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。

ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、記憶(メモリー)した放送局は取り消されます。時刻表示は「1:00」に戻ります。電源を接続したらもう一度始めから放送局や現在時刻を設定し直してください。

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーAV製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

61～63ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCD/SDカードなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎() -

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CD/SDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム / SDオーディオシステム
- サンプリング 周波数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：102dB
- SDメモリーカード
フォーマット：FAT12/16形式
推奨容量：8MB～512MB
再生オーディオ
フォーマット：MP3/WMA

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
●受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
●実用感度：14.3dBf(1.43 μ V/75 Ω)
- AMチューナー部
●受信周波数：522kHz～1,629kHz
●実用感度：27dB μ (22.4 μ V)

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 50W+50W
(4 Ω 、1kHz)
リア 50W+50W
(4 Ω 、1kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ～8 Ω で使用可能)
- 入力端子：DINジャック×1
LINE IN(1系統)、
1.5V/20k Ω
- 出力端子：LINE OUT(リア1系統)、
2.5V/1k Ω
：SUB WOOFER(1系統)

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース車用
- 取付寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行159mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行177mm
- 質量：約1.7kg(付属品含まず)

付属品

- ・リモコン(RM-RK300) 1
- ・電池(CR2025) 1
- ・CD-ROM(アプリケーションソフト) 1
- ・接続コード(16ピンコネクター) 1
- ・ネジ(M5×8mm) 4
- ・皿ネジ(M5×8mm) 4

別売りのオプション品

- RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)
- 変換コード：KS-U57(RCAプラグ)
KS-U58(ステレオミニプラグ)

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店で求めください。
(品番は変更されることがあります)

放送局名一覧

	放送局名	場所	周波数
北海道	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	旭川	85.8MHz
	〃	北見	86.0MHz
道(FM)	〃	函館	87.0MHz
	〃	帯広	87.5MHz
	〃	室蘭	88.0MHz
	〃	釧路	88.5MHz
北海	NHK第1	札幌	567kHz
	〃	釧路	585kHz
	〃	帯広	603kHz
	〃	旭川	621kHz
	STVラジオ	函館	639kHz
	NHK第1	〃	675kHz
	NHK第2	北見	702kHz
	〃	札幌	747kHz
	HBCラジオ	旭川	864kHz
	〃	室蘭	864kHz
海	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	室蘭	1,125kHz
	〃	帯広	1,125kHz
	〃	釧路	1,152kHz
	NHK第1	北見	1,188kHz
	STVラジオ	旭川	1,197kHz
道(AM)	HBCラジオ	帯広	1,269kHz
	〃	札幌	1,287kHz
	〃	稚内	1,368kHz
	〃	釧路	1,404kHz
	STVラジオ	札幌	1,440kHz
	HBCラジオ	網走	1,449kHz
	NHK第2	函館	1,467kHz
	HBCラジオ	名寄	1,494kHz
	NHK第2	旭川	1,602kHz

	放送局名	場所	周波数
東	FM岩手	盛岡	76.1MHz
	Date FM	仙台	77.1MHz
	エフエム青森	青森	80.0MHz
	FM山形	山形	80.4MHz
	ふくしまFM	郡山	81.8MHz
地	NHK-FM	山形	82.1MHz
	〃	仙台	82.5MHz
	FM秋田	秋田	82.8MHz
	NHK-FM	盛岡	83.1MHz
	〃	福島	85.3MHz
方(FM)	〃	青森	86.0MHz
	〃	秋田	86.7MHz
	NHK第1	盛岡	531kHz
	〃	山形	540kHz
	IBC岩手放送	盛岡	684kHz
東	NHK第2	秋田	774kHz
	NHK第1	仙台	891kHz
	山形放送	山形	918kHz
	秋田放送	秋田	936kHz
	NHK第1	青森	963kHz
地	NHK第2	仙台	1,089kHz
	青森放送	青森	1,233kHz
	東北放送	仙台	1,260kHz
	NHK第1	福島	1,323kHz
	NHK第2	盛岡	1,386kHz
方(AM)	ラジオ福島	福島	1,458kHz
	NHK第1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	山形	1,521kHz
	AFN	三沢	1,575kHz
	NHK第2	福島	1,602kHz
関	インター FM	東京	76.1MHz
	レディオ・ベリー	宇都宮	76.4MHz
	放送大学	東京	77.1MHz
	BAY-FM	船橋	78.0MHz
	FM-FUJI	三ツ峠	78.6MHz
東	放送大学	前橋	78.8MHz
	NACK 5	さいたま	79.5MHz
	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	〃	千葉	80.7MHz
地	放送大学	前橋	78.8MHz
	NACK 5	さいたま	79.5MHz
	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	〃	千葉	80.7MHz
方(FM)	放送大学	前橋	78.8MHz
	NACK 5	さいたま	79.5MHz
	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	〃	千葉	80.7MHz

	放送局名	場所	周波数	
関東地方(FM)	J-WAVE	東京	81.3MHz	
	NHK-FM	前橋	81.6MHz	
	∕	横浜	81.9MHz	
	∕	東京	82.5MHz	
	∕	水戸	83.2MHz	
	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz	
関東地方(AM)	NHK第1	東京	594kHz	
	NHK第2	∕	693kHz	
	AFN	∕	810kHz	
	TBSラジオ	∕	954kHz	
	文化放送	∕	1,134kHz	
	茨城放送	水戸	1,197kHz	
	ニッポン放送	東京	1,242kHz	
	ラジオ日本	横浜	1,422kHz	
	栃木放送	宇都宮	1,530kHz	
	中部地方(FM)	FM福井	福井	76.1MHz
FM新潟		新潟	77.5MHz	
ZIP FM		名古屋	77.8MHz	
FM Port		新潟	79.0MHz	
K-MIX		静岡	79.2MHz	
RADIO-i		名古屋	79.5MHz	
FM長野		美ヶ原	79.7MHz	
岐阜FM		高山	80.0MHz	
FM石川		金沢	80.5MHz	
中部地方(AM)		FM AICHI	名古屋	80.7MHz
		NHK-FM	富山	81.5MHz
		∕	金沢	82.2MHz
		∕	新潟	82.3MHz
		∕	名古屋	82.5MHz
	FMとやま	富山	82.7MHz	
	FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz	
	NHK-FM	福井	83.4MHz	
	∕	岐阜	83.6MHz	
	∕	長野	84.0MHz	
∕	甲府	85.6MHz		
∕	静岡	88.8MHz		

	放送局名	場所	周波数	
中部地方(FM)	NHK第2	静岡	639kHz	
	NHK第1	富山	648kHz	
	∕	名古屋	729kHz	
	北日本放送	富山	738kHz	
	YBSラジオ	甲府	765kHz	
	NHK第1	長野	819kHz	
	∕	新潟	837kHz	
	福井放送	福井	864kHz	
	NHK第1	静岡	882kHz	
	NHK第2	名古屋	909kHz	
中部地方(AM)	NHK第1	福井	927kHz	
	∕	甲府	927kHz	
	NHK第2	富山	1,035kHz	
	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz	
	信越放送	長野	1,098kHz	
	北陸放送	金沢	1,107kHz	
	新潟放送	新潟	1,116kHz	
	NHK第1	金沢	1,224kHz	
	近畿地方(FM)	東海ラジオ	名古屋	1,332kHz
		NHK第2	金沢	1,386kHz
静岡放送		静岡	1,404kHz	
岐阜ラジオ		岐阜	1,431kHz	
NHK第2		長野	1,467kHz	
∕		福井	1,521kHz	
∕		新潟	1,593kHz	
∕		甲府	1,602kHz	
FM CO・CO・LO		生駒山	76.5MHz	
E-Radio		滋賀	77.0MHz	
Kiss-FM KOBE	姫路	77.6MHz		
FM三重	津	78.9MHz		
FM 802	大阪	80.2MHz		
近畿地方(AM)	NHK-FM	津	81.8MHz	
	∕	京都	82.8MHz	
	∕	大津	84.0MHz	
	∕	和歌山	84.7MHz	
	fm osaka	大阪	85.1MHz	
	NHK-FM	神戸	86.5MHz	
	∕	奈良	87.4MHz	
	∕	大阪	88.1MHz	
	α-STATION	京都	89.4MHz	
	Kiss-FM KOBE	神戸	89.9MHz	

放送局名一覧(つづき)

	放送局名	場所	周波数		放送局名	場所	周波数	
近畿地方(AM)	AM KOBE	神戸	558kHz	四国地方(FM)	NHK-FM	高松	86.0MHz	
	NHK第1	京都	621kHz		〃	高知	87.5MHz	
	〃	大阪	666kHz		〃	松山	87.7MHz	
	NHK第2	〃	828kHz		四国地方(AM)	高知放送	高知	900kHz
	ABCラジオ	〃	1,008kHz			NHK第1	徳島	945kHz
	KBS京都	京都	1,143kHz			〃	松山	963kHz
中国地方(AM)	MBSラジオ	大阪	1,179kHz	〃		高知	990kHz	
	ラジオ大阪	〃	1,314kHz	NHK第2		高松	1,035kHz	
	和歌山放送	和歌山	1,431kHz	南海放送		松山	1,116kHz	
	中国地方(FM)	FM岡山	岡山	76.8MHz	NHK第2	高知	1,152kHz	
		エフエム山陰	松江	77.4MHz	四国放送	徳島	1,269kHz	
		広島FM	広島	78.2MHz	NHK第1	高松	1,368kHz	
FM山口		山口	79.2MHz	西日本放送	〃	1,449kHz		
NHK-FM		松江	84.5MHz	NHK第2	松山	1,512kHz		
〃		山口	85.3MHz	九州地方(AM)	Love FM	福岡	76.1MHz	
〃	鳥取	85.8MHz	FM中九州		熊本	77.4MHz		
エフエム山陰	浜田	86.6MHz	九州地方(FM)		FM佐賀	佐賀	77.9MHz	
NHK-FM	広島	88.3MHz			CROSS FM	福岡	78.7MHz	
〃	岡山	88.7MHz			SMILE-FM	長崎	79.5MHz	
中国地方(AM)	NHK第1	〃			603kHz	FM鹿児島	鹿児島	79.8MHz
	〃	山口		675kHz	FM福岡	福岡	80.7MHz	
	NHK第2	広島		702kHz	九州地方(AM)	NHK-FM	佐賀	81.6MHz
	山口放送	周南	765kHz	FM宮崎		宮崎	83.2MHz	
	山陰放送	米子	900kHz	NHK-FM		長崎	84.5MHz	
	NHK第1	下関	1,026kHz	〃		福岡	84.8MHz	
	〃	広島	1,071kHz	〃		熊本	85.4MHz	
	NHK第2	鳥取	1,125kHz	〃		九州地方(FM)	鹿児島	85.6MHz
	NHK第1	松江	1,296kHz	〃	北九州		85.7MHz	
	中国放送	広島	1,350kHz	〃	佐世保		86.0MHz	
	NHK第1	鳥取	1,368kHz	〃	宮崎		86.2MHz	
	NHK第2	山口	1,377kHz	FM大分	大分		88.0MHz	
〃	岡山	1,386kHz	NHK-FM	〃	88.9MHz			
四国地方(FM)	山陽放送	〃	1,494kHz	九州地方(AM)	NHK第1	宮崎	540kHz	
	AFN	岩国	1,575kHz		〃	鹿児島	576kHz	
	NHK第2	松江	1,593kHz		〃	福岡	612kHz	
	四国地方(FM)	FM香川	高松		78.6MHz	〃	大分	639kHz
		FM愛媛	松山		79.7MHz	〃	長崎	684kHz
		FM徳島	徳島		80.7MHz	〃	熊本	756kHz
		FM高知	高知	81.6MHz	〃	〃	873kHz	
		NHK-FM	高徳	83.4MHz				

	放送局名	場所	周波数
九州 地方 (AM)	宮崎放送	宮崎	936kHz
	NHK第1	佐賀	963kHz
	NHK第2	福岡	1,017kHz
	大分放送	大分	1,098kHz
	南日本放送	隼人	1,107kHz
	熊本放送	熊本	1,197kHz
	長崎放送	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	長崎	1,377kHz
	∕	鹿児島	1,386kHz
	KBCラジオ	福岡	1,413kHz
	NHK第2	大分	1,467kHz
∕	宮崎	1,467kHz	
AFN	佐世保	1,575kHz	
沖縄 (FM)	FM 沖縄	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN 沖縄	∕	89.1MHz
沖縄 (AM)	NHK第1	沖縄	549kHz
	AFN	∕	648kHz
	琉球放送	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	∕	864kHz
	NHK第2	∕	1,125kHz

文字配列表

●カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ツ	
ー	ゝ	゜	(空白)						

●英大文字

(空白)	A	B	C	D	E	F	G	H	I
J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
T	U	V	W	X	Y	Z			

●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

●数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	"	#	\$	%	&	'	()	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

〈お知らせ〉

- 本機は、「文字配列表」以外の文字・記号は入力できません。

お手入れ

本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで^{A A A}からぶきしてください。

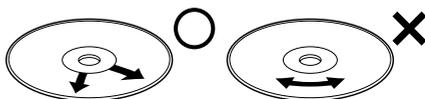
汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは^{A A A}からぶきしてください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

CDのお手入れ

CDを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



必ず内側から外側に
ふく。

連続したキズは音飛び
の原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーAV お客様ご相談センター

別紙の

「JVCカーAV 製品サービス窓口案内」をご覧ください。

F 0120-977-846 (フリーコール)

FAX(027)254-8927

受付時間 10:00~18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、**64**ページをご覧ください。

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/>

カーAV ホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12